

報告事項に係る資料

- 1 博物館事業の実施状況について
 - (1) 企画展開催結果等・・・・・・・・・・・・・・・・・・1～4ページ
 - (2) 常設展開催状況等・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
 - (3) 博物館入館者の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
 - (4) インターネット関連広報・・・・・・・・・・・・・・・・7～8
 - (5) 普及活動の実施状況等・・・・・・・・・・・・・・・・9～13
 - (6) とっとりデジタルコレクション・・・・・・・・・・・・14
 - (7) 調査研究成果等・・・・・・・・・・・・・・・・・・15～17
 - (8) 鳥取県ミュージアム・ネットワーク関連・・・・・・・・18
 - (9) 資料収集状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・19～20

- 2 令和4年度博物館事業に係る決算について・・・・・・・・21

- 3 令和5年度博物館・美術館整備局の予算について・・22～34

- 4 鳥取県立美術館整備の進捗状況について・・・・・・・・35～36

- 5 人事異動に伴う事務局職員の変更について・・・・・・・・37

開館 50 周年記念企画展「すべてみせます！ 収蔵庫の資料たち」の開催結果について

展覧会名	開館50周年記念企画展「すべてみせます！ 収蔵庫の資料たち」
会 期	令和4年10月29日（土）～12月11日（日）〔44日間、うち月曜休館6日間〕
会 場	鳥取県立博物館 第1・第2・第3特別展示室
観 覧 料	一般500円（前売・団体・70歳以上300円） 無料：大学生以下、学校教育活動引率者、障がいのある方、難病患者の方等
主 催	50年展実行委員会（鳥取県立博物館、山陰中央テレビジョン放送株式会社）

1 事業概要

この企画展では、昭和 47（1972）年 10 月に自然・人文・美術の総合博物館として開館した鳥取県立博物館の資料収集と調査研究の 50 年を紹介した。前身である鳥取県立科学館時代から収集されてきた県民一人一人の財産である資料を、可能な限りすべて展示し、県立博物館の意義と役割を考える機会を提供した。

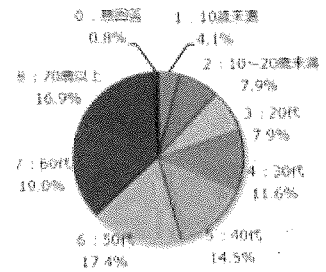
2 開催結果

(1) 企画展

入場者数 7,490人（目標5,000人）

収蔵庫の資料を、可能な限りすべてみせるという例のない挑戦的な企画であったが、目標を超える入場者があり、来場者から感動や激励の声が多く寄せられた（後述）。また、新聞やテレビ、SNS などでも多く取り上げられ、全国的にも話題となり、博物館の意義を共に考えることができた。本展開催の成果と課題としては以下の点があげられる。

- 入場者アンケートでは、よかったと回答された方が 97.5%（大変よかった 72.3%・よかった 25.2%）であり、入場者の満足度は極めて高かった。【（3）を参照】
- アンケート回答者の年齢構成をみると、全年齢層が満遍なく来館されており（右図）、また小学校等の団体来館も多かった（26件）。このことから、すべての年齢層の方に、博物館への関心を抱いていただけたと思われる。
- 資料の収集・保存の機能と学芸員の存在価値について、肯定的な意見が多く寄せられ、理解を得ることができた。【（3）を参照】
- 歴史分野では、鳥取藩政資料の中の「家老日記」をすべて展示し、ボランティアによる解説やデータベース公開などの活動も紹介したところ、全国ニュースで取り上げられ、それを読まれた大手出版社から新書出版のオファーがあった。現在、出版化を進めている。
- 収蔵総数約 20 万点のうち、今回展示できた点数は約 6 万点だった。展示点数への驚嘆の声は多かったので収蔵数を視覚的に伝える目的は達成できたと思われるが、一方で「もっとみたい」「次もやってほしい」といった声もあり、今後の展示の検討において留意すべきと思われた。【（3）を参照】
- 主催者である山陰中央テレビの YouTube 課の制作番組は広く拡散され、高い広報効果があった。また、県政番組「キニナルとっとり」において 2 週連続で特集され、広く県民にお知らせできた。



(2) 関連行事

『学芸員に聞いてみよう！』：会期中の土日（10：30～12：00、13：30～15：00）

学芸員が展示室に常駐し、様々な疑問や質問にお答えしていく、来場者との対話を実施したところ、たいへん好評であった。【（3）を参照】

(3) 主な反響（入場者アンケートから 回答者 242 人）

- ・収蔵品の多くを目にし、涙が出るほど感動しました。
- ・よくぞこれだけの県民の宝を守ってくれていると感激しました。
- ・子供の頃を思い出し、また父・母に会えた気持ちになり、わくわくしました。ありがとうございました。

- ・日頃どう収蔵されているのか、博物館による収集・整理・研究にどのような意義があるのか(いかに価値あることをなされているのか)が良く分かりました。展示方法含め、大変すばらしい企画だった。
- ・とにかくよかった。子どもたち、孫たちに見せたい。
- ・こんなにすばらしい収蔵品が眠っていると知りませんでした。
- ・圧倒的な物量に驚きました。国宝展にも勝るとも劣らないスケールで、来たかいがありました。
- ・50周年にふさわしい素晴らしい展示でした。多くのコレクションを大事にした博物館としてこれからも期待します。
- ・県立博物館 50th を偲ぶ学芸員さんたちの情熱がすごく伝わってきました。
- ・疑問にすぐ学芸員さんが答えてくれて、より一層楽しめました。
- ・学芸員・研究員の解説がとても良かった。 ・県立博物館の歴史を肌で感じる事ができた。
- ・来年度もまたぜひ企画してほしい！ ・第2回も開催してもらいたいです。 ・定期開催希望します。
- ・もう一度やってほしい。孫にも見せたかった。 ・県博の凄さがわかりました。
- ・キャプションは UD フォントで可読性が高い点がすばらしい！
- ・鳥取県にはこんなにたくさんの宝物があるんですね！ ・こんなに多くすばらしい物が…。感動。
- ・鳥取県の美術界を形成した人々の苦労(寄贈した方々の熱意も)がわかり、熱い思いを感じた。
- ・歴史的なもの、生物、化石、美術など多くの収蔵物を見て学ぶことができた。生物、とくに動物のはく製は圧巻でした。
- ・保管、修復されるご苦労のおかげで、県民の財産となっています。今後もこのような大がかりな展示を拝見したいです。

▼展覧会の風景



企画展「安岡信義 1888-1933——近代洋画の黎明期を生きた画家」の開催結果について

令和5年8月1日
博 物 館

展覧会名	「安岡信義 1888-1933——近代洋画の黎明期を生きた画家」
会 期	令和5年2月11日(土・祝)～3月21日(火・祝) [34日間/3月20日を除く月曜日休館]
会 場	鳥取県立博物館 2階 第1・第2特別展示室

1 事業概要

歿後 90 年を迎える鳥取市出身の洋画家・安岡信義 (1888-1933 年) に焦点をあて、その画業の全容を初めて網羅的に紹介する回顧展。これまで未公開であった作品ならびに関連資料群の調査を通じて、安岡の仕事の全貌に迫ると同時に、彼が学んだ東京美術学校で教鞭を執っていた黒田清輝や久米桂一郎、岡田三郎助ら日本近代洋画を牽引する画家の作品を併せて紹介することで、同時代の諸相の中で安岡の画業を位置づける機会とした。また図画教師として後進の育成と文化振興に努めた富山時代については、教え子らの作品を介して、一地方画壇が形成される端緒を築いた安岡が美術教育者としての姿にも迫るものとした。

2 開催結果

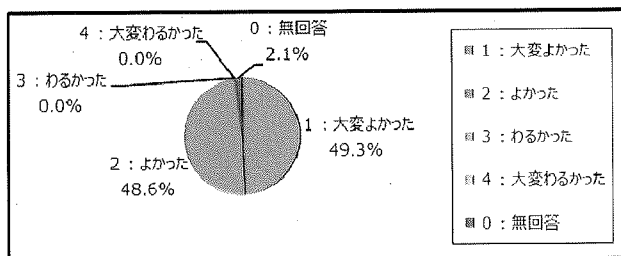
(1) 企画展入場者数 2,207 人 (目標 5,000 人)

(2) 関連行事参加者数

内 容	参加者数合計
担当学芸員によるギャラリートーク (2/11、3/4)	75 名
作品鑑賞と対話型鑑賞に関するワークショップ (2/25)	9 名
美術館サテライトスタジオ (倉吉) での担当学芸員によるスライドトーク (3/11)	3 名
特別講演会 (3/18)	30 名

(3) 結果・反響 (来館者アンケートから: 回答数 140 人)

① 展覧会満足度 「大変よかった」「よかった」とする意見が合計97.9%と好評だった。



② 感想(主なもの)

- ・郷土に関係する画家の存在を知らなかったので、知る機会になってよかった。
- ・絵を見るのが楽しい、面白いことだとわかった。
- ・安岡の作品の良さに再確認出来た。他作家の作品も見ごたえがあり満足した。

- ・近代洋画の黎明期を生きた日本人の人生を知りつつ絵を観覧できたため没入できた。
- ・安岡信義に焦点をあてつつ、影響を受けた画家、影響を与えた(育成)画家の作品が一堂に展示されており、比較して鑑賞することができた。
- ・地元の作家について、とても丁寧かつ詳細に紹介され、史的背景も展示品からよく理解できた。
- ・もう少し安岡と他作家エリアを明確に整理、離して展示した方が「味わえ」たと思う。
- ・二度目ですが、くりかえし見てもいいものです。デッサン、油絵のそれぞれのタッチの違いがそれぞれ魅力的。

まとめ: 目標の達成に向けて、テレビCMの本数(ヴァリエーション)を増やして広報面の強化を図ると同時に、地元フリーペーパー(2紙)での依頼掲載、NHK「日曜美術館」へのアプローチ(残念ながら不採用)、周辺小学校への来館誘致、SNSでの全5回のイベント告知等について、よりキャッチーなタイトル設定や、多様な層に訴えかける戦略に取り組んできたが、残念ながら来場者数目標には達成しなかった。しかしながら、複数回来場された方が多かったことや会場での一人当たりの滞在時間が長かったことが各種イベントでのお声かけや看視員からの報告を通じて判明しており、またアンケート結果からは郷土作家の作品を同時代の著名な作家の作品と併せて鑑賞することへの満足度の高さが窺え、展覧会としては一定の評価を得られたものと考えたい。

【写真】



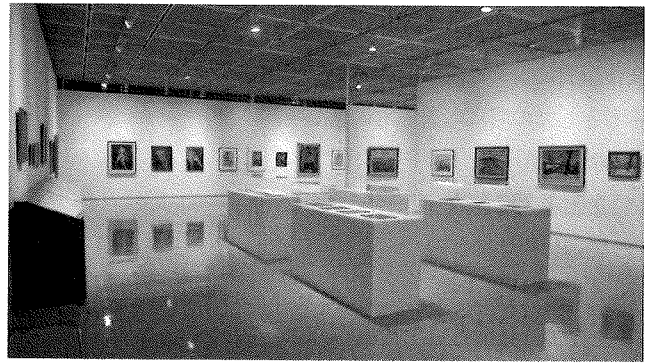
会場入り口の様子 画家としての安岡の自画像を展示



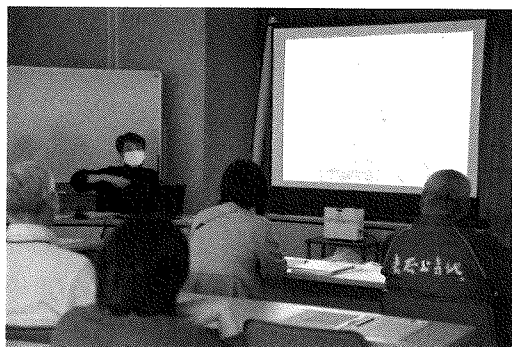
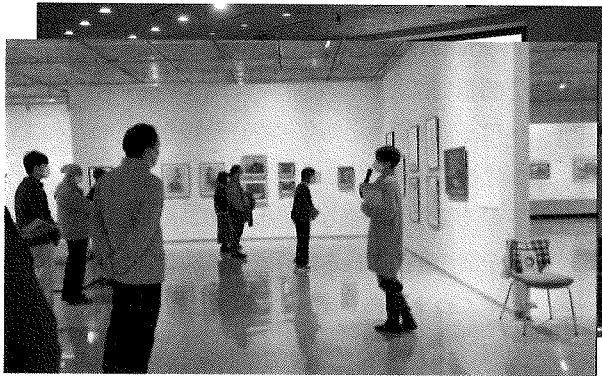
第1章の様子 外光派の名品と安岡の作品を比較展示



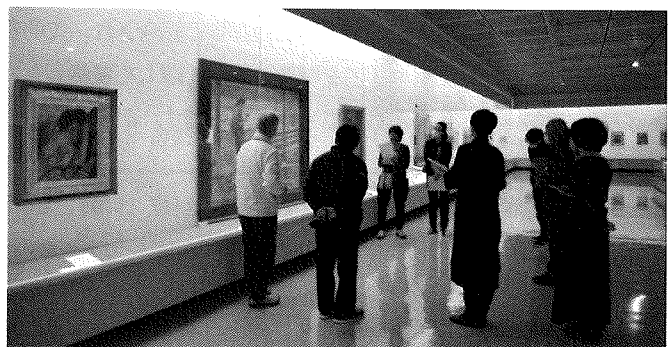
第2章の様子 黒田清輝ら東京美術学校の教師陣および安岡の素描や関連資料を通じて、同校での美術教育の実態を紹介



第3章の様子 同時代に関わりがあった郷土作家、また、山陰を描いた安岡の作品を展示



ワークショップの様子① (会議室にてディスクリプションの実践)



ワークショップの様子② (会場内にて対話型鑑賞の実践)

令和4年度 常設展の展示概要

自然展示室

■「自然の窓」コーナー

令和4年2月8日～6月26日	それ、サギじゃない!?	一澤主幹学芸員
令和4年6月28日～10月23日	鳥取県の絶滅のおそれのある野生植物	清末学芸員
令和4年11月10日～令和5年3月28日	小さな小さな動物園	川上学芸課長
令和5年3月29日～6月18日	イカをごらんください	一澤主幹学芸員

■「身近な植物」コーナー

令和3年12月13日～令和4年4月14日	新年ミニ企画 集まれ虎の尾	清末学芸員
令和4年4月15日～8月10日	浮き袋をつけた海藻 — ホンダワラの仲間 —	
令和4年8月11日～12月18日	生誕 160 年記念 牧野富太郎採集標本の里帰り展示とゆかりの植物たち	
令和4年12月20日～令和5年3月12日	うさぎにまつわる植物	
令和5年3月28日～6月25日	鳥取県のタンポポ	

歴史・民俗展示室

■「歴史の窓」

令和4年3月8日～4月17日	天皇の政治と文書	山本学芸員
令和4年4月19日～6月19日	砂丘に埋没した古墳—岩美町浦富5号墳	小山専門員兼主任学芸員
令和4年6月21日～8月28日	三徳山ゆかりの県指定文化財—姫宮神社の狛犬と観照院の蔵王権現像—	福代主幹学芸員
令和4年8月30日～11月6日	新発見! 鳥取藩主の分家・西館家臣の古文書	大嶋主任学芸員
令和4年11月8日～12月18日	戦国時代の土地の売り買い—契約書に見る中世人—	山本学芸員
令和4年12月20日～令和5年2月26日	鳥取藩お抱え鋳師・因州駿河の鉄鐺デザイン	来見田主任学芸員
令和5年2月28日～5月7日	鳥取県出土の皇朝十二銭	小山専門員兼主任学芸員

1階美術展示室

※臨時収蔵庫として利用するために当面休室

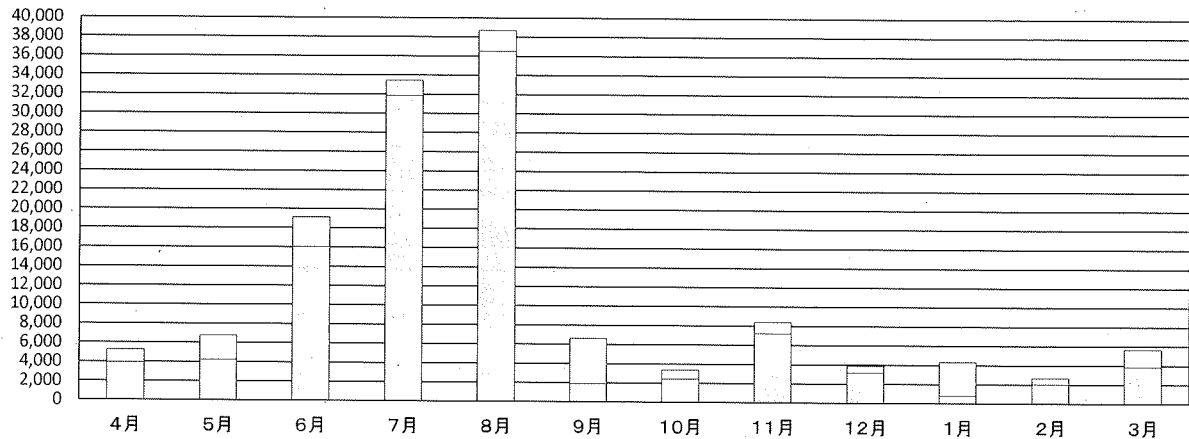
2階近代美術展示室(第3特別展示室)

	テーマ	
令和5年2月24日～3月21日	シリーズ: 美術をめぐる場をつくるIV 感じる — 鈴木昭男と宮北裕美のありかた	赤井主任学芸員 佐藤専門員 外村専門員

令和4年度 博物館入館者の状況

【鳥取県立博物館利用者数】

<令和5年3月31日現在>



区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	備考
来館者	常設展(A)	1,318	1,587	4,299	7,197	8,128	1,866	2,024	2,175	1,062	798	1,049	2,325	33,828
	企画展(B)	2,182	2,523	11,635	24,293	28,211	0	394	5,002	2,094	0	876	1,331	78,541
	普及活動(館内)(C)	406	87	69	355	192	0	8	16	11	19	97	204	1,464
	研究相談(D)	8	7	25	12	12	17	21	9	9	10	5	9	144
	小計	3,914	4,204	16,028	31,857	36,543	1,883	2,447	7,202	3,176	827	2,027	3,869	113,977
	県展・ジュニア県展(E)	0	0	0	0	0	3,703	0	0	0	2,343	0	0	6,046
	貸館利用者数(F)	0	1,217	1,999	101	97	150	265	239	157	727	62	303	5,317
	ミューゼ利用者数(I)	1,367	1,316	1,095	1,477	2,062	881	674	954	547	445	603	1,488	12,909
	小計	1,367	2,533	3,094	1,578	2,159	4,734	939	1,193	704	3,515	665	1,791	24,272
	総来館者数	5,281	6,737	19,122	33,435	38,702	6,617	3,386	8,395	3,880	4,342	2,692	5,660	138,249
普及活動(館外計)	58	364	470	641	26	140	352	254	74	24	21	82	2,506	
普及活動(館外講座等)(G)	58	364	470	235	26	140	352	254	74	24	21	82	2,100	
普及活動(移動博物館等)(H)	0	0	0	406	0	0	0	0	0	0	0	0	406	
博物館利用者総計	5,339	7,101	19,592	34,076	38,728	6,757	3,738	8,649	3,954	4,366	2,713	5,742	140,755	
うち博物館主催事業利用者(E, F, Iを除く)	3,972	4,568	16,498	32,498	36,569	2,023	2,799	7,456	3,250	851	2,048	3,951	116,483	
実績	常設展・企画展(A)+(B)	3,500	4,110	15,934	31,490	36,339	1,866	2,418	7,177	3,156	798	1,925	3,656	112,369
	普及事業(C)+(D)+(G)	472	458	564	602	230	157	381	279	94	53	123	295	3,708
	計	3,972	4,568	16,498	32,092	36,569	2,023	2,799	7,456	3,250	851	2,048	3,951	116,077

<企画展別入館者数>

令和4年度	
企画展名	入館者数(人)
三蔵法師が伝えたもの	4,705
ティラノサウルス展	64,139
すべてみせます! 収蔵庫の資料たち	7,490
安岡信義 近代洋画の黎明期を生きた画家	2,207
計	78,541

令和3年度	
企画展名	入館者数(人)
垣田堅二郎コレクション展	1,978
QooZILLA!!クジラとイルカの世界	13,401
とっりの乱世	5,005
東郷青児と前田寛治、ふたつの道	3,683
小早川秋聲 旅する画家の鎮魂歌	2,607
計	26,674

<主な貸館による入館者数>

令和4年度	
企画展名	入館者数(人)
第61回麒麟のまち鳥取市美術展	2,080
伯耆しあわせの郷 織物教室30周年展	1,040
第66回鳥取県美術展覧会	3,703
第20回鳥取県ジュニア美術展覧会	2,323
あいサポート・アートとっとり展東部巡回展	546
計	9,692

令和3年度	
企画展名	入館者数(人)
第60回麒麟のまち鳥取市美術展	2,172
木梨憲武展 Timing-瞬間の光-	19,184
第65回鳥取県美術展覧会	3,956
令和3年度シニア作品展	484
第19回鳥取県ジュニア美術展覧会	2,355
鳥取県文化功労賞受賞記念巡回展	611
あいサポート・アートとっとり展東部巡回展	808
第43回鳥取県書道連合会展	408
計	29,978

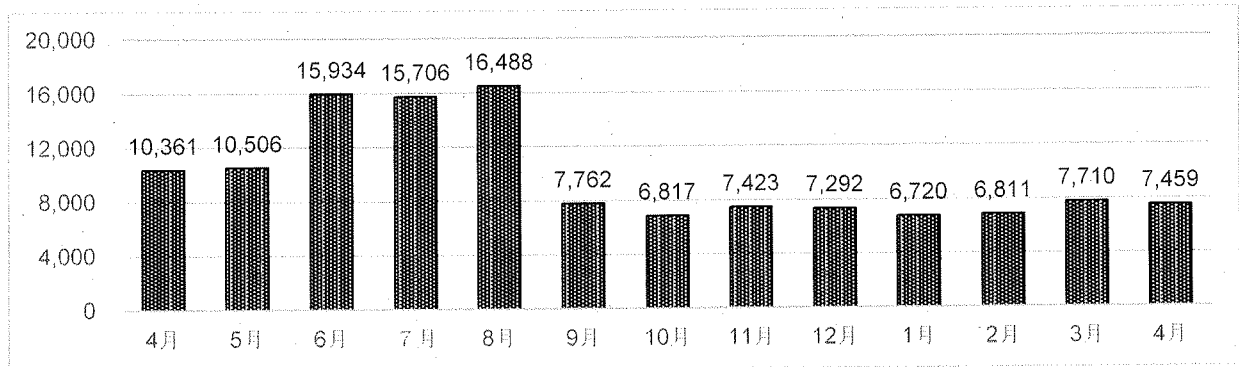
鳥取県立博物館におけるインターネット関連広報について

1. とりネット（ホームページ）による広報

企画展の情報を適宜更新する他、常設展示の内容などをまとめている。収蔵資料データベースは、令和3年3月1日から、県立4館合同のデジタルアーカイブシステム「とっとりデジタルコレクション」にデータを移管して公開している。

《鳥取県立博物館ホームページのアクセス数の推移》 R4年4月～R5年4月

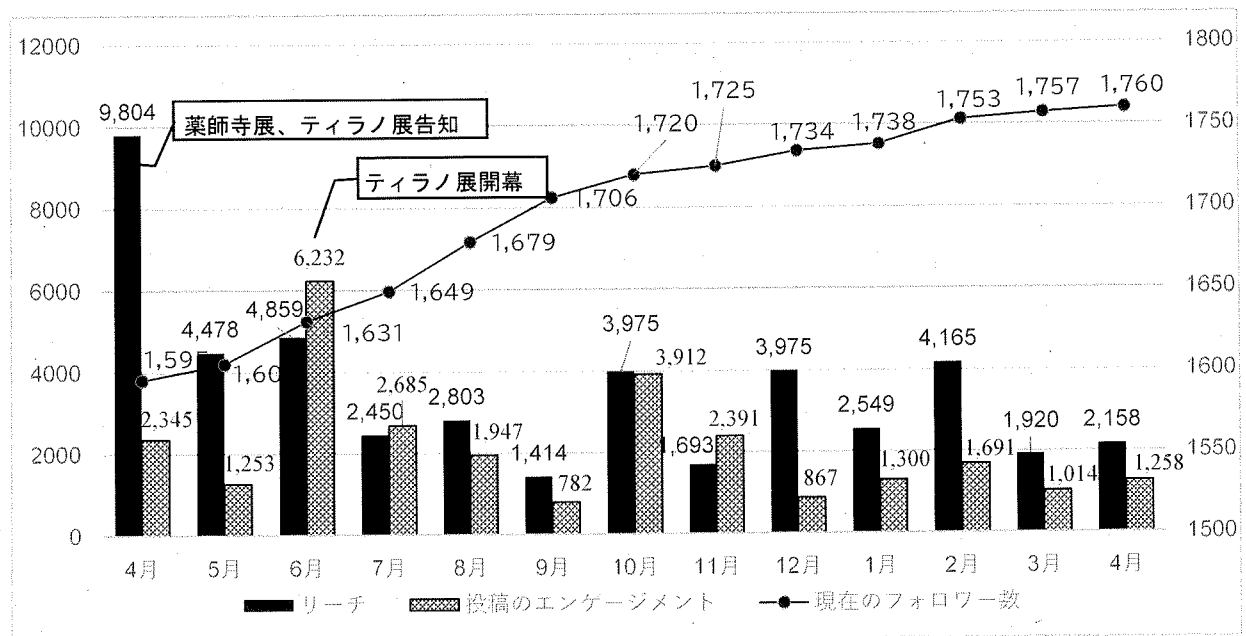
※博物館トップページのアクセス数のみ。Facebook から直接、企画展等のリンクに飛んだ場合はカウントされていない。



2. SNS（Facebook）による広報

平成28年9月より鳥取県立博物館のFacebookの運用を開始。投稿内容は、企画展情報や普及講座の参加募集・実施状況の他、マスコミへ資料提供など、博物館利用者へ情報を拡散したいものとしている。また、令和2年5月8日より美術部門学芸チームがInstagramの運用を、令和3年12月からTwitterの運用を開始した。

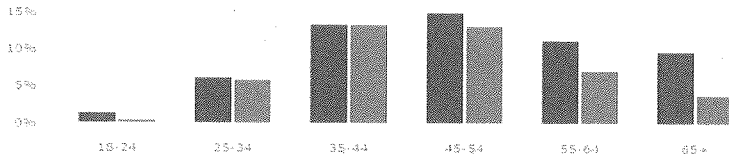
《鳥取県立博物館 Facebook ページのアクセス数の推移》（リーチが多かった記事）



■ 投稿のエンゲージメント（投稿に「いいね」や「シェア」などした人）（世代ごとの割合）

年齢と性別

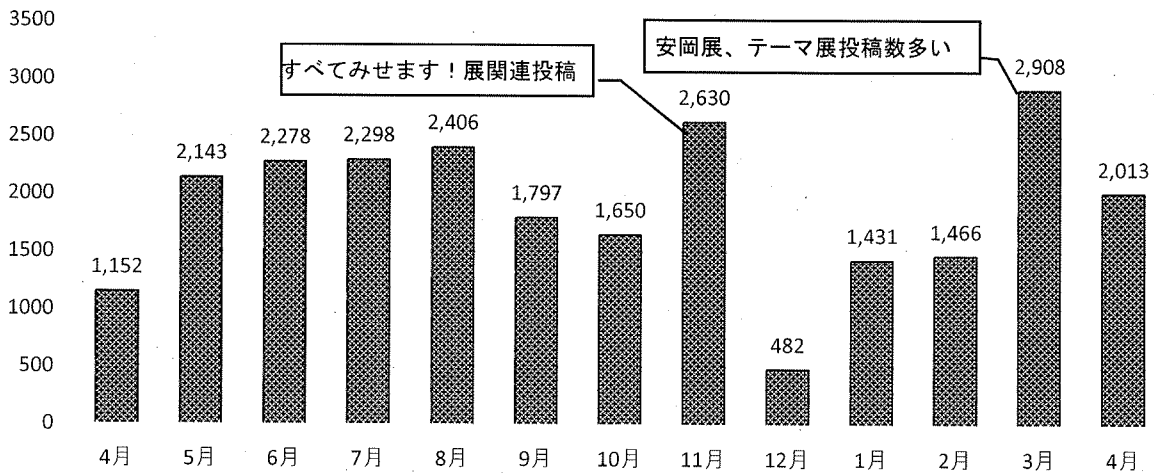
■ 男性 56.40%
■ 女性 43.60%



2-2. SNS (Instagram) による広報

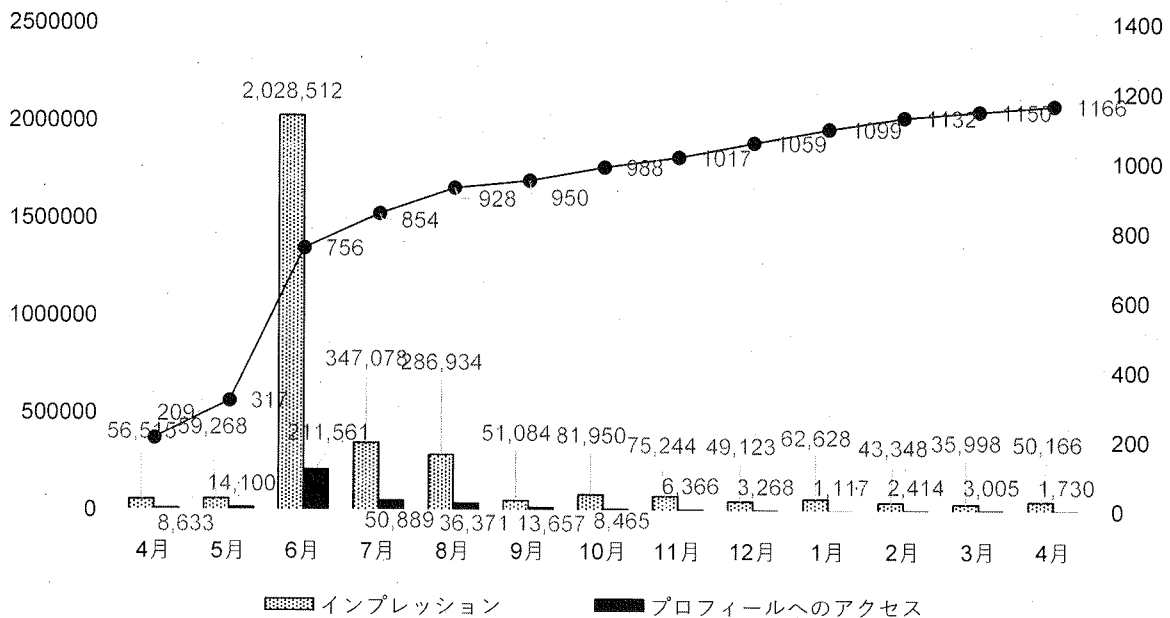
フォロワー数 989 (令和5年5月1日時点)

《美術部門学芸チーム Instagram ページのアクセス数の推移》



2-3. SNS (Twitter) による広報

フォロワー数 1166 (令和6年5月1日時点)



令和4年度普及活動の実施状況について

※定員欄が空欄のものは、定員の設定がないものである。

区分	部門	テーマ	場所	実施日	定員	実績		
移動博物館 ／出前展示	計5件						—	
	自然	計5件						—
		レッドデータブックととりの生きもの	鳥取養護学校	9月6日(火)～ 9月14日(水)	/	—		
		鳥取県の化石	倉吉市立関金小学校	9月13日(火)～ 9月16日(金)	/	—		
		鳥取県の化石	北栄町立北条小学校	9月20日(火)～ 10月7日(金)	/	—		
		鳥取県博物館の昆虫標本	倉吉養護学校	11月28日(月)～ 11月30日(水)	/	—		
レッドデータブックととりの生きもの	鳥取市立青谷中学校	12月12日(月)～ 12月21日(水)	/	—				
移動美術館	計1件						406	
美術	もっと版画（はなが）りましょう	キナルなんぶ	7月23日(土)～ 8月7日(日)	/	406			
学芸員派遣 (教職員向け 講師・指導助 言)	計8件						125	
	自然	計8件						77
		とっとり生物多様性推進センター連絡協議会	鳥取県東部事務所	5月23日(月)	14	14		
		岩美町小栗浜の海浜養生に伴う鳥取県絶滅危惧種スナビキソウのミティゲーションの指導	岩美町浦富小栗浜	6月1日(水)	/	4		
		鳥取市さじアストロパーク管理運営委員会	鳥取市さじアストロパーク	7月12日(火)	/	14		
		第7回千代川の今後を考える学識懇談会	オンライン	8月4日(木)	/	12		
		令和4年度第2回とっとり生物多様性センター連絡協議会兼とっとり環境イニシアティブ県民会議生物多様性保全部会	県庁議会棟3階第15会議室	9月29日(木)	/	9		
		第9回千代川河川アドバイザー会議	鳥取河川国道事務所	11月7日(月)	/	16		
	自然解説研修	鳥取県立大山青年の家	11月9日(水)	/	8			
	美術	計1件						48
	東部小学校教育研究会図画工作部会	博物館講堂	7月29日(金)	/	48			
学芸員派遣	計70件(うち10件中止)						1,759	
自然	計44件						1,160	
	唐川湿原自然観察会	岩美町唐川湿原	4月3日(日)	/	14			
	「自然観察さいしょの一步」下見観察会	倉吉市 打吹山	5月8日(日)	/	14			
	赤崎海岸ハマナス見学会	赤崎港展望駐車場	5月15日(日)	24	26			
	青谷学(青谷町の地形と地質)	青谷高等学校	5月25日(水)	/	13			
	第586回 自然観察指導員講習会	とやま旅館(大山町大山)及びその周辺	5月28日(土)～29日(日)	40	74			
	第8回オカヒジキ戻ってこいこいプロジェクト@熊井浜	岩美町牧谷熊井浜	6月5日(日)	20	9			
	令和4年度生涯学習委託事業「地域の仲間づくり事業」空山での自然観察会	米里地区公民館	6月10日(金)	/	16			
	青谷学 青谷町に広がる溶岩／勝部谷	青谷高等学校	6月15日(水)	/	13			
	恐竜と化石をまなぼう!	鳥取養護学校	6月22日(水)	/	50			
	ハマナス自生地の調査・保護活動研修会	琴浦町赤崎海岸朝日町区	6月24日(金)	/	10			
	恐竜と化石	遷喬地区公民館	6月25日(土)	20	25			
	校内ビオトープでの昆虫観察と採集	鳥取市立明德小学校	6月30日(木)	/	21			
	校内ビオトープで採集した昆虫の標本作り	鳥取市立明德小学校	7月6日(水)	/	24			
	ティラノ展オンライン展示解説	博物館展示室	7月8日(金)	/	50			
	見て触って城山自然ツアー	湊山公園米子城跡	7月16日(土)	/	18			
	スペシャル観察会「石ころ標本をつくらう」	八頭郡若桜町庄の瀬 八東川河原	7月18日(月)	20	16			

区分	部門	テーマ	場所	実施日	定員	実績	
		国語科での学芸員派遣「因幡の白うさぎ」で扱うがまの穂について	倉吉養護学校	7月19日(火)	9	9	
		化石レプリカをつくろう!	ハーモニカレッジ	7月21日(木)	20	24	
		ジオを発見!親子で自由研究 石ころ	湯谷荘	7月23日(土)	10	11	
		親子新聞教室	博物館会議室	7月25日(月)	10	12	
		ケーブルテレビ番組撮影の解説	湯梨浜町内	7月26日(火)~28日(木)		15	
		化石のレプリカ作り体験	気高町立図書館	7月29日(金)	8	11	
		化石のレプリカ作り体験	博物館会議室	8月4日(木)	20	25	
		親子新聞教室	博物館会議室	8月12日(金)	10	13	
		オンライン展示解説	博物館展示室	8月26日(金)		72	
		青谷学	鳥取県立青谷高等学校	8月31日(水)	13	13	
		身近な自然観察のポイント	鳥取市湖山池青島	9月7日(水)	20	16	
		青谷学	鳥取県立青谷高等学校	9月14日(水)		15	
		トンボ観察会	とっとり出会いの森(鳥取市桂見)	9月25日(日)	20	20	
		東郷湖羽合臨海公園 蝶々の観察とミニバタフライガーデンづくり	東郷湖羽合臨海公園 浅津公園	10月2日(日)	20	6	
		化石のレプリカ作り	チュウブ鳥取砂丘こどもの国	10月10日(月)		250	
		鳥取西高等学校ESD研修	博物館講堂	10月12日(水)		8	
		青谷学	鳥取県立青谷高等学校	10月12日(水)		15	
		自然観察指導員鳥取・島根交流会	キナルなんぶ	10月22日(土)		28	
		立体地図作り	鳥取市立浜坂小学校	11月2日(水)		11	
		野外観察イベント「おちばの中の虫さがし!」	とっとり出会いの森	11月6日(日)	15	8	
		第6学年「大地のつくりと変化」	鳥取市立大正小学校	11月17日(木)		25	
		植物の陸上進出	鳥取大学	11月22日(火)		39	
		見て触って米子城自然ツアー	湊山公園米子城跡	11月23日(水)		18	
		第3学年図工「土でかく」	鳥取市立面影小学校	12月7日(水)		29	
		あなたの蘇苔(せんたい) ヒーローはどのコケ?	にちなみ日野川の郷多目的ホール	1月14日(土)		13	
		オンライン収蔵庫解説	博物館3階収蔵庫	1月31日(火)		5	
		見て触って米子城自然ツアー	湊山公園米子城跡	2月23日(木)		21	
		鳥取の化石	鳥取市立青谷中学校	3月16日(木)		35	
	人文	計15件(うち10件中止)					108
		古文書解説ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	4月2日(土)~3日(日)		中止	
		古文書解説ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	5月7日(土)~8日(日)		中止	
		古文書解説ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、山陰歴史館	6月4日(土)~5日(日)		29	
		古文書解説ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	7月2日(土)~3日(日)		35	
		古文書解説ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	8月6日(土)~7日(日)		中止	
		民間伝承の伝わり方(伝説・民話・怪談の誕生から伝わるまで)	米子市立図書館 特別閲覧室	8月18日(木)		1	
		古文書解説ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	9月3日(土)~4日(日)		中止	
		古文書解説ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	10月1日(土)~2日(日)		中止	
		古地図ぶらりを使った鳥取市内の町歩き	鳥取市移住定住ガーデン	10月22日(土)		10	
		古文書解説ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	11月5日(土)~6日(日)		中止	
		伯耆の荒神信仰と神崎神社	米子市立図書館2階研修室	11月12日(土)	60	33	
		古文書解説ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	12月3日(土)~4日(日)		中止	
		古文書解説ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	1月7日(土)~8日(日)		中止	
		古文書解説ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	2月4日(土)~5日(日)		中止	
		古文書解説ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	3月4日(土)~5日(日)		中止	
	美術	計11件					491
		《ワークショップ》紙コップ10000個でアート	三朝児童クラブ(三徳センター、三朝町片柴)	4月4日(月)		29	

区分	部門	テーマ	場所	実施日	定員	実績	
		コレクション宅配便*	鳥取看護大学	5月12日(木)	/	86	
		《ワークショップ》紙コップ10000個でアート	琴浦町立浦安小学校	6月9日(木)	/	65	
		《ワークショップ》不思議な絵の具で遊ぼう!	八頭町立八東小学校	6月10日(金)	/	25	
		コレクション宅配便*	みなとテラス(境港市)	9月11日(日)	/	80	
		コレクション宅配便*	米子工業高等専門学校	10月14日(金)	/	43	
		コレクション宅配便*	伯耆町立岸本中学校	11月14日(月)	/	66	
		コレクション宅配便*	鳥取短期大学	11月15日(火)	/	30	
		コレクション宅配便*	米子工業高等専門学校	12月8日(木)	/	45	
		アーティストとつくろう!	鳥取市立湖東中学校	1月13日(金)	/	11	
		アーティストとつくろう!	鳥取市立湖東中学校	3月14日(火)	/	11	
教員の日	計1件					54	
	教員のための博物館の日 2022 in 鳥取県立博物館	博物館講堂・会議室・展示室	8月1日(月)	/	54		
普及講座	計90件(うち31件中止)					3,142	
	自然	計22件(うち11件中止)					373
		《天体観望会》春の星を見る会	博物館多目的広場	5月4日(水)	/	65	
		《野外観察会》生物学会員と歩くいきもの観察会	大山	5月7日(土)	30	49	
		《野外観察会》自然観察さいしょの一步	倉吉市打吹山	5月22日(日)	20	23	
		《野外観察会》昆虫観察入門~初夏の虫をさがそう!~	博物館会議室、博物館周辺	6月5日(日)	10	31	
		《野外観察会》夜の昆虫観察	博物館周辺	6月25日(土)	20	33	
		《野外観察会》スマホで楽しむ変形菌撮影会	博物館会議室、博物館周辺	6月26日(日)	12	12	
		《自然講座》鳥取養護学校高等部のみんなと化石のでき方を学ぼう!~化石入り岩石づくり体験!~	博物館会議室	7月17日(日)	20	16	
		《自然講座》標本しらべ教室	博物館会議室ほか	7月23日(土)~8月28日(日)	/	41	
		《自然講座》チリメンモンスターをさがそう!	博物館会議室	7月24日(日)	40	41	
		《自然講座》昆虫の標本をつくろう!	博物館会議室	7月30日(土)	20	30	
		《自然講座》昆虫の体のつくりをしらべよう!	博物館会議室	7月31日(日)	20	32	
		《自然講座》化石クリーニング教室	博物館会議室	8月6日(土)	40	中止	
		《自然講座》化石レプリカをつくろう! [ティラノサウルスの歯!]	博物館会議室	8月14日(日)	40	中止	
		《自然講座》ふわふわ!キラキラ!鳥の羽を楽しもう	博物館会議室	8月21日(日)	20	中止	
		《天体観望会》夏の星を見る会	博物館多目的広場	9月18日(日)	/	中止	
		《野外観察会》きのこを調べる会	大山寺地区	10月8日(土)	20	中止	
		《野外観察会》あつと、ときめくコケ観察会	日野町山村開発センター、周辺	11月19日(土)	24	中止	
		《野外観察会》おちばの中のモンスターをさがそう!	倉吉市打吹山	11月19日(土)	20	中止	
		《自然講座》描いてみよう!サイエンス生物画	博物館会議室	11月20日(日)	20	中止	
		《シンポジウム》「辰巳峠」は昆虫化石の宝庫!	博物館講堂	12月3日(土)	250	中止	
		《野外観察会》はじめてのバードウォッチング	鳥取市湖山池	12月11日(日)	15	中止	
		《自然講座》砂つぶトレジャーハンティング!	博物館会議室	12月25日(日)	20	中止	
	人文	計34件(うち11件中止)					1,973
		《トーク》お坊さんがやって来た◇第1回	博物館会議室、展示室	4月9日(土)~12日(日)	/	300	
		《記念講演会》玄奘三蔵 不東の御精神	博物館講堂	4月9日(土)	200	92	
		※《歴史講座》近世中後期の朝廷と鳥取藩一公家と関係をつづる人びと	博物館会議室	4月17日(日)	20	20	
		《歴史講座》鳥取県内の釈迦十六善神像と大般若経について	博物館講堂	4月17日(日)	200	63	
		《トーク》お坊さんがやって来た◇第2回	博物館会議室、展示室	4月22日(金)~24日(日)	/	350	
		《講演会》薬師寺まほろば塾 鳥取塾「玄奘三蔵の道」	博物館講堂	4月23日(土)	200	177	
		《トーク》お坊さんがやって来た◇第3回	博物館会議室、展示室	4月28日(木)~30日(土)	/	235	

区分	部門	テーマ	場所	実施日	定員	実績	
		《歴史講座》企画展特別関連行事「はじめてのお写経講座」in鳥取県立博物館	博物館会議室	4月28日(木)～5月15日(日)	60	9	
		企画展展示解説	博物館展示室	5月1日(日)		22	
		企画展展示解説	博物館展示室	5月3日(火)		40	
		企画展展示解説	博物館展示室	5月4日(水)		22	
		企画展展示解説	博物館展示室	5月5日(木)		20	
		《トーク》お坊さんがやって来た◇第4回	博物館会議室、展示室	5月13日(金)～15日(日)		400	
		※《歴史講座》倉吉周辺の寺社巡り『和久嶋旧跡往来』を読む	博物館講堂	5月14日(土)	30	20	
		※《歴史講座》戦後の食糧危機と鳥取県 & GHQ	博物館会議室	6月11日(土)		14	
		※《歴史講座》明治30年の陰陽連絡線建設中止の反対運動について	博物館会議室	7月9日(土)		25	
		《歴史講座》ふすまの下のお宝を探そう	博物館会議室	8月11日(木)	20	中止	
		※《歴史講座》幕末の「登山」—安達清風を中心として	博物館会議室	8月13日(土)		中止	
		《民俗講座》鳥取県の民話を聞く会	博物館展示室	8月21日(日)	30	中止	
		※《歴史講座》中世後期日野山名氏の動向	博物館会議室	9月10日(土)		中止	
		※《歴史講座》天狗党の争乱と鳥取藩	博物館会議室	10月8日(土)		中止	
		《歴史講座》勾玉づくり	博物館会議室	10月9日(日)	20	中止	
		※《歴史講座》近現代の旧藩主池田家	博物館会議室	11月12日(土)		16	
		《歴史講座》古戦場・山城・荘園をあるく—法勝寺と尼子・三沢氏—	南部町法勝寺周辺	11月13日(日)	20	中止	
		※《歴史講座》「災害時等の県立公文書館、図書館、博物館等の市町村との連携・協力実施計画」の概要	博物館会議室	12月10日(土)		11	
		《歴史講座》幕末維新の古文書を楽しむ(安達清一郎編)	博物館会議室	12月11日(日)	20	中止	
		《歴史講座》山名氏の古文書を読む	博物館会議室	1月8日(日)	20	中止	
		※《歴史講座》地域社会における「モード」としての社会運動	博物館会議室	1月14日(土)		14	
		《歴史講座》お正月の遊びを楽しもう!	博物館会議室	1月15日(日)	16	中止	
		《歴史講座》はじめての考古学(入門編)	博物館会議室	1月22日(日)	20	中止	
		《民俗講座》鳥取県の民話を聞く会	博物館展示室	2月5日(日)		25	
		《講演会》狗戸那城跡を読み解く	博物館講堂	2月11日(土)		44	
		※《歴史講座》山名系図の研究—系図情報と一次史料からみる山名氏・因伯—	博物館会議室	3月11日(土)		37	
		《歴史講座》伯耆往来をあるく(淀江～東山公園)	米子市	3月19日(日)	20	17	
	美術	計34件(うち9件中止)					796
		《ギャラリートーク》おしゃべりアート鑑賞 初めての対話型鑑賞	1階休憩コーナー	4月9日(土)	6	6	
		《アートレクチャー》超やさしい仏像・仏画鑑賞入門	博物館会議室	4月16日(土)	10	7	
		《ワークショップ》らくがきばんざい! (春編)	博物館前庭	4月23日(土)		15	
		《ワークショップ》公開ミーティング#01・対話型鑑賞ファシリテーター登録者ミーティング	博物館会議室	4月30日(土)		32	
		《ワークショップ》シリーズ:MUSEUMで描く① 博物館で見たお気に入りのかたち	博物館展示室、会議室	5月7日(土)	12	20	
		《ワークショップ》じっくりものづくりワークショップ 革のポーチづくりに挑戦!	博物館会議室	5月14日(土)	15	11	
		《アートシアター》ベギー・グッゲンハイム アートに恋した大富豪	博物館講堂	5月21日(土)	100	18	
		《アートシアター》ベギー・グッゲンハイム アートに恋した大富豪	博物館講堂	5月28日(土)	100	18	
		《ワークショップ》色水であそぼう! in米子市 児童文化センター	米子市児童文化センター 屋外広場	6月4日(土)	60	156	
		《ワークショップ》夏の普及事業の作戦会議「ワークショップづくり隊!」ミーティング	博物館会議室	6月11日(土)		11	
		《アートシアター》エッシャー 視覚の魔術師(2018年/オランダ)	博物館講堂	6月18日(土)	100	9	
		《アートシアター》エッシャー 視覚の魔術師(2018年/オランダ)	博物館講堂	6月25日(土)	100	6	
		《ワークショップ》モールドアート! —博物館の“生きものたち”をつくろう	博物館会議室	7月2日(土)	50	25	
		《ワークショップ》シリーズ:MUSEUMで描く② 博物館で見たお気に入りのかたち	2階休憩コーナー	7月9日(土)	50	中止	

区分	部門	テーマ	場所	実施日	定員	実績
		《シリーズ「美術をめぐる場をつくる」番外編》かざぐるまでアート！	博物館中庭	7月16日(土)		22
		《シリーズ「美術をめぐる場をつくる」番外編》かざぐるまでアート！	博物館中庭	7月23日(土)		71
		《ワークショップ》移動美術館南部展 関連企画「エンボッシング」でオリジナルポストカードをつくろう！	キナルなんぶ	7月30日(土)	15	中止
		《スペシャルアートシアター》「前世紀探検」	博物館講堂	8月6日(土)	70	28
		《スペシャルアートシアター》「前世紀探検」	博物館講堂	8月13日(土)	70	中止
		《ワークショップ》「ワークショップつくり隊！」企画 シン・キョウリュウをつくろう！	博物館会議室	8月20日(土)	10	中止
		《ワークショップ》泥でアート！	博物館地下駐車場	8月27日(土)		中止
		《スペシャルアートシアター》「ストーリー」デジタルリマスター版	博物館講堂	9月3日(土)	70	中止
		《スペシャルアートシアター》「ストーリー」デジタルリマスター版	博物館講堂	9月10日(土)	70	中止
		《ワークショップ》らくがきばんざい！秋編	博物館前庭	9月17日(土)		中止
		《ギャラリートーク》おしゃべりアート鑑賞2 初めての対話型鑑賞	エントランスホール	9月24日(土)	18	中止
		《ギャラリートーク》企画展「安岡信義 1888-1933 近代洋画の黎明期を生きた画家」	博物館展示室	2月11日(土)		40
		《ワークショップ》「作品鑑賞と対話型鑑賞の愛すべき往復書簡」	博物館会議室、展示室	2月25日(土)	10	9
		《ワークショップ》公開ミーティング#02 対話型鑑賞ファシリテーター登録者ミーティング	博物館講堂	2月25日(土)		19
		《オープニング・イベント》ライブ・パフォーマンス/オープニング・トーク	博物館展示室	2月26日(日)		68
		《ギャラリートーク》企画展「安岡信義 1888-1933 近代洋画の黎明期を生きた画家」	博物館展示室	3月4日(土)		35
		《イブニング・スライドトーク》「麗しの素描の世界-安岡信義を起点として」	HATSUGAスタジオ	3月11日(土)	15	3
		《アートシアター》「ソラネ 幸福の帽子をかぶって生まれてきた子」上映会&ディレクター・トーク	博物館講堂	3月12日(日)		45
		《特別講演会》「安岡信義の生きた時代-東京美術学校の美術教育と洋画界」	博物館講堂	3月18日(土)	70	30
		《テーマ展関連イベント》音とダンスのパフォーマンス「TaYuTai」	博物館講堂	3月19日(日)		92
					総計	5,486

※は鳥取地域史研究会との共催

*は美術館整備事業

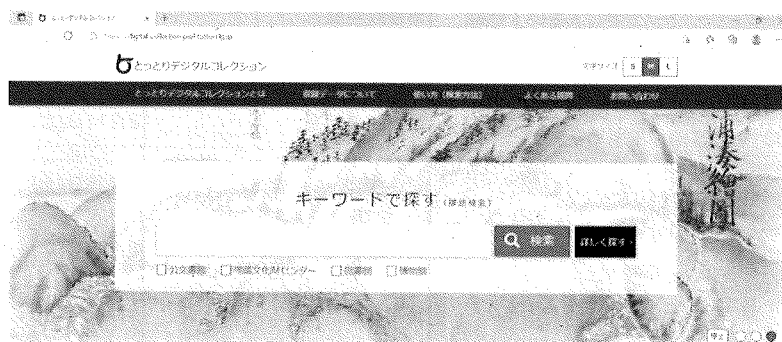
とっとりデジタルコレクションについて

1. 概要

「とっとりデジタルコレクション」は、県立4館（博物館・図書館・公文書館・埋蔵文化財センター）合同のデジタルアーカイブシステムの名称で、令和3年3月から公開している。公開から2年が経過し、全体でのアクセス件数は50万件を超えている。

令和5年7月末に「日記」カテゴリに「寺社方日記」を追加公開予定。

※システムは富士通の MusethequeV4 をベースに運用。



2. アクセス数の統計（令和4年度分）

《アクセス数の推移》 アクセス数≠アクセスした人数。

施設	分類	2022年										2023年			合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
博物館	動物	98	78	64	163	183	333	270	282	148	114	142	148	2,023	
	維管束植物	31	11	5	34	9	40	12	14	76	27	14	79	352	
	コケ植物	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	1	3	8	
	地衣類	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3	
	藻類	1	1	0	0	0	0	0	37	41	15	17	11	123	
	菌類	2	1	3	1	1	4	3	3	3	1	2	1	25	
	変形菌類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	化石	23	29	29	13	30	9	21	56	40	28	25	71	374	
	鉱物	0	22	4	1	0	0	0	3	14	0	0	3	47	
	岩石	0	3	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	7	
	古絵図	207	332	232	274	348	379	304	478	664	658	0	0	3,876	
	絵葉書	531	792	1,013	649	749	975	862	871	615	1,097	945	1,401	10,500	
	航空定点写真	51	80	131	95	91	122	111	65	45	76	88	75	1,030	
	歴史	468	887	1,151	1,241	1,015	1,505	2,212	2,809	4,273	4,280	3,923	4,547	28,311	
	近現代	22	39	55	23	42	21	15	28	24	17	20	34	340	
	民俗	2	5	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0	11	
	考古	8	7	19	12	4	4	8	7	4	3	9	3	88	
	日記	2,286	2,784	2,704	2,729	3,417	4,419	4,609	4,243	7,759	3,702	4,049	3,330	46,031	
	祭り・行事	186	194	255	222	291	302	164	280	368	235	219	228	2,944	
地上定点写真	4,699	4,836	5,347	5,753	6,355	6,465	5,655	7,911	4,792	4,804	6,092	7,647	70,356		
小計	8,616	10,101	11,014	11,210	12,536	14,578	14,248	17,089	18,866	15,061	15,549	17,581	166,449		
美術館	美術	98	157	154	280	114	88	144	386	363	725	504	648	3,661	
	図書	31	30	75	76	77	75	50	80	151	96	90	183	1,014	
	小計	129	187	229	356	191	163	194	466	514	821	594	831	4,675	
合計	8,745	10,288	11,243	11,566	12,727	14,741	14,442	17,555	19,380	15,882	16,143	18,412	171,124		

令和4年度研究成果および令和5年度調査研究計画（自然）

令和4年度研究成果（論文発表）

鳥取地学会誌 26号（2022年6月発行）

田邊佳紀：鳥取県指定天然記念物「辰巳峠の植物化石産出層」について ―その3. クモ類化石・魚類化石・鳥類化石―

概要：「辰巳峠の植物化石産出層」として鳥取県の天然記念物に指定されている鳥取市佐治町の辰巳峠について、同地から産出報告のあるものうちクモ類化石、魚類化石、鳥類化石の先行研究をまとめた。また植物化石や昆虫化石等についての先行研究とあわせ、同地が産出する化石の多様さにおいて日本有数のものであることを示すとともに、未解決の課題についても述べた。

令和5年度(以降)調査研究計画

長期計画（部門別テーマ）

鳥取県の自然史に関わる実物資料及び事象の情報を収集・保存し継承するとともに、本県の自然史を解明する。

中期計画（単年度～複数年度テーマ）

地学分野

- ・鳥取県の地形地質と化石に関する調査研究
令和5年度～7年度 担当：田邊
成果発表形態：論文（当館研究報告他）、学会発表、常設展示

動物分野

- ・鳥取県の昆虫相と昆虫の分類に関する調査研究
令和5年度～7年度 担当：鶴・川上 共同研究者：立田晴記（琉球大学）他
成果発表形態：論文（当館研究報告他）、学会発表、常設展示
- ・鳥取県の動物相と動物の分類に関する調査研究
令和5年度～7年度 担当：一澤
成果発表形態：論文（当館研究報告他）、学会発表、常設展示
- ・鳥取県沿岸の漂着動物に関する調査研究
令和5年度～7年度 担当：一澤・川上・田邊・太田（自然館）
成果発表形態：論文（当館研究報告他）、学会発表、常設展示
- ・寄贈された貝類標本コレクションの調査研究
令和5年度 担当：渡邊・一澤・鶴
成果発表形態：論文（当館研究報告他）、学会発表、常設展示

植物分野

- ・鳥取県の植物相と植物の分類、および変形菌に関する調査研究
令和5年度～7年度 担当：清末
成果発表形態：論文（当館研究報告他）、学会発表、常設展示
- ・寄贈された植物標本コレクションの調査研究
令和5年度～7年度 担当：清末
成果発表形態：論文（当館研究報告他）、学会発表、常設展示
- ・寄贈された変形菌類標本コレクションの調査研究
令和5年度～7年度 担当：清末 共同研究者：高橋和成（岡山県浅口市）、山本憲幸（高知市）
成果発表形態：論文（当館研究報告他）、学会発表、常設展示

令和4年度研究成果および令和5年度調査研究テーマ（人文）

令和4年度研究成果（論文発表）

鳥取県立博物館研究報告第60号（2023年3月発行）

《資料紹介》大嶋陽一ほか「鳥取藩領因幡国岩井郡大庄屋中嶋家「御用日記」翻刻 その七
《目録》大田勝也・大嶋陽一「鳥取藩の武器・武具関連職人一覧」

令和4～5年度調査研究計画

長期目標（部門別テーマ）

鳥取県の歴史（原始古代～近現代）、民俗に関わる実物資料及び事象の情報を収集・保存し継承する。

中期目標（年度テーマ）

考古分野

・館蔵品の調査研究

平成31年度～令和5年度 担当：小山 共同研究者：なし

・鳥取県内の原始・古代の遺跡の調査研究

平成31年度～令和5年度 担当：小山 共同研究者：なし

成果発表形態：展示

歴史分野

・鳥取県内の釈迦十六善神像及び大般若経の調査

令和3年度～令和4年度 担当：大嶋・福代

成果発表形態：展示、報告書

民俗分野

・鳥取県内の社寺の棟札に関する調査研究

平成24年度～令和4年度 担当：福代 共同研究者：藤木竜也（千葉工業大学准教授）

成果発表形態：研究報告、展示

・幻獣・妖怪に関する伝承の調査研究

令和5年度～令和7年度 担当：福代 共同研究者：なし

成果発表形態：展示

総合分野

・文化財の状況調査

三朝町俵原を予定

令和4年度調査研究実績及び令和5年度以降の調査研究取組内容（美術）

令和4年度調査研究実績

- ・鳥取県ゆかり及び国内外の優れた美術等に関係した美術資料、作家や作品等に関する調査研究
令和4年度企画展（「すべてみせます！展（美術部門）」「安岡信義展」）、および令和5年度企画展（「ミュージアムとの創造的対話04展」「根本幽哉展」）等に関する調査研究

令和5年度以降の調査研究取組内容

近世美術分野

- ・「鳥取県にゆかりのある近世以前の作家の展開に関する調査研究」
随時 担当：山田 共同研究者：未定 成果発表形態：論文、展覧会
- ・「杉浦（土方）家伝来資料に関する調査研究および目録化」
令和7年度まで 担当：山田 共同研究者：未定 成果発表形態：論文、展覧会

近代美術分野

- ・「鳥取県ゆかりの洋画家における西洋美術受容の実践に関する調査研究」
随時 担当：友岡 共同研究者：なし 成果発表形態：論文、セミナー、展覧会
- ・「鳥取における美術・文芸の同人に関する研究：収蔵資料を含む現存資料の調査および目録化」
令和6年度まで 担当：友岡 共同研究者：未定 成果発表形態：論文、展覧会、口頭発表
- ・「鳥取県にゆかりのある近代日本画家に関する調査研究」
随時 担当：山田 共同研究者：未定 成果発表形態：論文、展覧会

現代美術分野

- ・「福嶋敬恭の作品の展開に関する調査研究」
令和6年度まで 担当：赤井 共同研究者：なし 成果発表形態：論文、展覧会
- ・「鳥取県ゆかりの現代美術作家に関する調査研究」
随時 担当：赤井 共同研究者：なし 成果発表形態：展覧会
- ・「現代美術作品による制度批評および社会に介入する芸術についての調査研究」
随時 担当：赤井 共同研究者：なし 成果発表形態：論文、企画展
- ・「地域型アートプロジェクトにおける批評とキュレーションに関する調査研究」
随時 担当：赤井 共同研究者：小泉元宏(立教大学) 成果発表形態：論文、展覧会、口頭発表

写真分野

- ・「鳥取県にゆかりのある写真家に関する継続的調査研究」
随時 担当：赤井 共同研究者：なし 成果発表形態：セミナー、論文、展覧会

工芸・デザイン分野

- ・「鳥取県にゆかりのある現代の工芸家に関する継続的調査研究」
随時 担当：三浦 共同研究者：なし 成果発表形態：企画展、セミナー、論文
- ・「手仕事の技術を生かした現代・国内外のデザインに関する調査研究」
随時 担当：三浦 共同研究者：なし 成果発表形態：エッセイ、セミナー、論文
- ・「山陰の絁織りに関する技法および様式に関する調査研究」
令和7年度まで 担当：三浦 共同研究者：未定 成果発表形態：セミナー、論文、常設展示
- ・「鳥取県出身の工芸家・岡村吉右衛門のスケッチおよびノート類に関する調査研究」
令和7年度まで 担当：三浦 共同研究者：なし 成果発表形態：セミナー、論文、常設展示

美術館教育分野

- ・「『来館者の学び』に関する理論と方法に関する調査研究」
随時 担当：佐藤 共同研究者：デジタル鑑賞教育研究会
成果発表形態：展示、ワークショップ、口頭発表
- ・「地域に根ざしたアートコミュニケーション事業の在り方に関する調査研究」
随時 担当：山本 共同研究者：なし 成果発表形態：ワークショップ、広報物の発行
- ・「美術館の教育普及機能の有効化・充実に向けた、館内外における実践的な調査研究」
随時 担当：外村 共同研究者：未定
成果発表形態：教育普及事業、アウトリーチプログラム、教員研修、ワークショップ等

令和4年度鳥取県ミュージアム・ネットワーク事業報告

1 一般会計事業

区分	期日	事業内容
総会	7月16日	協議事項: 令和2年度事業報告及び決算について 令和3年度事業計画(案)及び予算(案)について 報告事項: 令和3年度加盟館状況について 災害発生時における博物館資料の救援活動等実施要綱について 相互利用促進制度について 役員交代について その他: 博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン(情報提供)
	(書面決議)	※新型コロナウイルス感染症拡散防止のため書面決議による可決
理事会	4月14日	報告事項: 令和5年度加盟館状況について 災害発生時における博物館資料の救援活動等実施要綱について 相互利用促進制度について 協議事項: 令和4年度事業報告(案)及び決算見込みについて 令和5年度事業計画(案)及び予算(案)について その他: 博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン(情報提供)
	(書面決議日)	※新型コロナウイルス感染症拡散防止のため書面決議による可決(予定)
研修事業		
(第1回)	年度当初	*総会終了後、引き続き開催 テーマ:— 講師:— 内容:— ※新型コロナウイルス感染症拡散防止のため中止
(第2回)	9月30日	(会場:鳥取県立博物館、オンライン) テーマ:「文化をつなぎ、わかちあう —文化観光推進法と博物館法改正—」 講師:文化庁参事官(文化観光担当)付 博物館支援調査官 中尾智行 氏
共同事業	随時	補助事業(2,3館の加盟館で行うもの) ・連携事業の補助(H22年度開始) 令和4年度は北栄みらい伝承館と鳥取県立博物館の 展覧会「生誕100年 吉田たすく展」1件。
情報交換事業	随時	*総会、研修会開催時に限らず、予算要求時や年度当初に、学芸員等実務担当者 同士積極的な意見交換をする。
その他の事業		
加盟館の相互利用の促進	・広報用チラシを8,000部作成	
外部依頼への対応等	・『関西文化の日』への参加	

2 特別会計事業

区分	事業内容
(1)美術館等協力連携推進支援事業	共同企画展1回、委員会2回、専門部会4回、研修会1回開催
内 容	期 日 (令和4年度)
TMN美術館等協力連携推進委員会第1回専門部会	4月14日
TMN美術館等協力連携推進委員会第2回専門部会	5月20日
TMN美術館等協力連携推進委員会第1回委員会	6月
令和4年度共同企画展に向けての担当者打合せ(メール、電話等)	8~10月随時
TMN美術館等協力連携推進委員会第3回専門部会	9月27日
TMN美術館等協力連携推進委員会第2回委員会	10月31日
令和4年度共同企画展「吉田たすくとゆかりの作家展」	11月3日~12月4日
外部講師による加盟館学芸員資質向上研修会1テーマ「乳幼	令和5年3月17日
TMN美術館等協力連携推進委員会第4回専門部会	令和5年3月17日
※美術館等協力連携推進支援事業は、令和5年度から鳥取県教育委員会美術館整備局美術館整備課所管の「県内美術館等協力連携促進支援事業」となり、鳥取県ミュージアム・ネットワークとは別事業となります。	

令和4年度 資料収集等の状況について

1 博物館資料保有状況

部 門	前年度末 保有点数	本年度中増加点数					本年度中 減少点数	本年度末 保有点数
		購 入	寄 贈	採 集	保管換	分類換		
地 学	8,143		488					8,631
動 物	36,418	8	3	87				36,516
植 物	55,723	2	159	387				56,271
歴 史	55,342	12	3,700					59,054
近現代	8,296	109						8,405
民 俗	4,131		160					4,291
考 古	8,292							8,292
美 術	10,314	171	132		1			10,618
合 計	186,659	302	4,642	474	1	0	0	192,078

2 購入(製作)資料

部 門	資 料 名
地 学	なし
動 物	鳥類骨格標本(ツミ等)計7点、コウノトリ本剥製1点
植 物	オオミヤマトンビマイ樹脂含浸標本1点、ジクホコリ拡大模型1点
歴 史	色絵磁器1点、鏝など12点
近現代	鳥取県関係絵葉書104点、映画ポスター7点、阪神タイガース選手寄書サイン色紙など10点、東宝映画ロビーカードセット「潮騒」、ポスター2点、映画プレスシート4点、映画ポスター「潮騒」1点、進め一億火の玉だ大政翼賛会 大チラシ1点
民 俗	なし
考 古	なし
美 術	島田元旦《蓬莱山之図》1点、片山楊谷《猛虎図》他4点、根本幽峨《予譲裂衣図》1点、根本雪峨《高士松竹梅図》1点、小早川秋聲《追分物語》他4点、前田寛治《田園風景》1点、中山巍《風景》1点、香田勝太《裸婦》1点、辻晉堂《詰込教育を受けた子供》他3点、堀内正和《Exercise 7》1点、依田順子《Untitled #P-3》他3点、野村仁《Tardiology(遅延論)》8点、中ハシクシゲ《夏の終わり》他2点、村岡三郎《直線》他4点、眞島竜男《無題(栄光の彼方に)》37点、山沢栄子《Consuelo Kanega》他4点、やなぎみわ《My Grandmothers MIE》他5点、牛腸茂雄《日々》他84点、ウォーホル《キャンベルスープ缶》《ブリロの箱(1)》他6点

3 寄贈資料

部 門	資 料 名
地 学	地学標本(岩石・鉱物・化石)約2,500点【整理後に登録予定】 (このほか、過去に寄贈された植物化石等488点を整理・登録した。)
動 物	カヤネズミの巣標本計7点【標本化後に登録予定】、魚拓標本(マダイ等)102点【整理後に登録予定】、テン剥製1点(登録外)、ツキチョウウオウオ冷凍遺体1点【標本化後に登録予定】、アオリイカ(11本腕)液浸標本1点 (このほか、前年度に寄贈されたクロシジミ乾燥標本2点を登録した。)
植 物	地衣類標本(ヤマハナゴケ)1点、植物標本(セトヤナギスブタ他)計7点、現生植物花粉プレパレート標本35点(登録外) (このほか、過去に寄贈された維管束植物標本31点、変形菌類乾燥標本120点を整理・登録した。)
歴 史	旧鳥取藩士鈴木家資料24点、槍(銘 若狭大掾藤原冬廣)1点、宮脇陽雄氏収集資料73点、日野郡阿毘縁村西木下家文書3,480点、会見郡赤井手村社家石賀家文書など122点
近現代	なし
民 俗	ドライブイット1点、民謡収録オープンリールテープ157点、綿入れ1点、棹ばかり1点
考 古	なし
美 術	島田元旦《東蝦夷紀行》他6点、安岡信義関係資料79点、中ハシクシゲ《Pine Gate》1点、村岡三郎《蒸留水80》他2点、松浦家(土方家)伝来資料37点、中島菜刀《紅葉に小禽図》他関連資料7点

4 採集・拾得等資料

部 門	資 料 名
地 学	なし
動 物	セミエビ類9点、ウミウシ類75点、ダイオウイカ口器2点、ツキノワグマ分離骨格1点
植 物	維管束植物383点、コケ植物4点
歴 史	なし
近現代	なし
民 俗	なし
考 古	なし
美 術	なし

5 保管換え

部 門	資 料 名
美 術	木原義明《無題》1点

令和4年度 博物館事業に係る決算について

(一般会計)
(単位：千円)

事業名	予 算 額			決算額 (B)	財 源 内 訳				残額 (A-B)	備考				
	当初予算	補正額	流用額等		計(A)	国庫	使用料	寄附金			財産収入	諸収入	起債	一般財源
企画展開催費	82,875	△ 247	0	82,628	81,779	0			30,252	7,000	51,527	849		
三蔵法師が伝えたもの	17,554	△ 48		17,506	17,407				1,571		15,836	99		
ティラノサウルス展	42,125	△ 138		41,987	41,952				24,200		17,752	35		
すべて見せます！鳥取県立博物館の50年	7,307	△ 59		7,248	7,217				1,923		5,294	31		
安岡信義と鳥取近代洋画のバイオニア	15,889	△ 2		15,887	15,203				2,558		12,645	684		
博物館運営費	103,468			103,468	97,967			920	897	7,000	88,064	5,501		
博物館交流事業	580			580	0						0	580		
自然事業費	5,387	△ 2,154		3,233	2,606						2,606	627		
人文事業費	11,333			11,333	10,141						10,141	1,192		
美術事業費	13,735	△ 434		13,301	10,686						10,686	2,615		
博物館普及事業費	7,935	△ 727		7,208	4,913						4,913	2,295		
美術館・博物館等ネットワーク	1,310			1,310	1,102						1,102	208		
強化推進事業	0			0							0	0		
鳥取県美術品取得基金戻金	0			0										
合 計	226,623	△ 3,562	0	223,061	209,194	0		920	31,149	7,000	169,039	13,867		

令和4年度 美術館整備推進事業に係る決算について

(一般会計)
(単位：千円)

事業名	予 算 額			決算額 (B)	財 源 内 訳				残額 (A-B)	備考			
	当初予算	補正額	流用額等		計(A)	国庫	使用料	寄附金			財産収入	諸収入	一般財源
鳥取県立美術館整備推進事業	97,933			97,933	96,061						96,061	1,872	
「県立美術館」実現プロジェクト事業	9,129			9,129	6,823		220				6,603	2,306	
地域でつくる美術館応援事業		5,000		5,000	4,582						4,582	418	
全県美術館構想に向けたネットワークづくりスタートアップ事業		3,670		3,670	1,682						1,682	1,988	
合 計	107,062	8,670	0	115,732	109,148	0	220	0	0	0	108,928	6,584	

令和5年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費
6項 社会教育費
3目 博物館費

博物館（電話：0857-26-8042）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
企画展開催費	〔債務負担行為〕 87,441	〔債務負担行為〕 90,000	〔債務負担行為〕 △2,559			〈雑入〉 8,480	〔債務負担行為〕 87,441	
	81,082	82,875	△1,793				72,602	

トータルコスト 147,820千円（前年度 149,853千円）〔正職員：5.5人、会計年度任用職員：8.3人〕

主な業務内容 企画展の開催

工程表の政策内容 博物館機能の充実

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

鳥取県の自然、歴史・民俗、美術分野の資料、作品、研究成果等や、世界的・全国的に貴重な作品等を県民に紹介するため企画展を開催する。

2 主な事業内容

（単位：千円）

	企画展名	会期（予定）	内容	予算額
夏 （自然）	ノーベル賞受賞 100年記念「アイン シュタイン展」	7月1日～ 8月27日 （52日）	20世紀最高の物理学者と称されるアルバート・アインシュタインの科学理論について、体験装置やゲーム、科学玩具、最新映像技術を駆使し、子どもたちも楽しみながら学べる内容である。アインシュタインゆかりの品や幼少時の挫折体験、晩年の平和活動など深みのある人間性も紹介する。	22,640
秋1 （人文）	勾玉の世界展（仮 称）	10月7日～ 11月12日 （36日）	装飾品としてのほか、祭祀具としての役割も担うなど古来から素材や形のリニューアルを繰り返して様々なニーズに対応してきた勾玉の多様な側面に焦点をあて、鳥取県出土の個性的な勾玉も紹介しながら、現代人をも魅了してやまないその魅力を紹介する。	18,117
秋2 （美術1）	ミュージアムとの創 造的対話04 「アートと…教育/学 び/共有!!?Art and… Education/Learning /Sharing」（仮称）	11月26日～ 12月28日 （32日）	ミュージアムを巡る問いを契機に、国内外の優れたアーティストによる実験的で多彩な表現を展示室の内外に展開させることで思考を促し、人やモノ、場との対話を重ねながらその現代的な意味を探ることを目的としたシリーズ企画展である。4回目の本展では「教育/学び/共有」をテーマに、様々な作品やプロジェクトを通じて旧来の美術教育にはとどまらない「第3の学びの場」としてのミュージアムの可能性について考察する。	18,854
冬 （美術2）	生誕二〇〇年 根本 幽峨 NEMOTO Yuga ー鳥取藩絵師 最後 の華ー（仮称）	2月10日～ 3月20日 （34日）	実力ある個性的な画家たちが多く存在した鳥取藩の黄金時代の最後期を飾る鳥取藩絵師 根本幽峨の作品や代表作を展示する。幼い頃より絵が巧みで、藩に才を認められて修学の機会を与えられ、商家から士分に取り立てられて幕末を生き抜いた稀有な藩絵師の全貌に迫る。	18,912
	令和6年度当初開催 企画展開催準備		令和6年度当初に開催する企画展の開催準備に要する費用である。 （チラシ、ポスター等のデザイン委託、印刷経費）	2,559
合計				81,082

3 債務負担行為 令和6年度 限度額 87,441千円

区分	企画展名（仮称）	会期（予定）
美術	古代エジプト美術館展（地元マスコミと共催）	令和6年4月6日～同年5月12日
美術	アートって、なに？あそびながら知る、美術館のおもしろさ	令和6年6月29日～同年8月25日
自然	ネコ展～あなたの知らないうち、ネコの世界～	令和6年10月5日～同年11月10日
人文	幕末土佐の天才絵師 絵金展	令和6年11月23日～同年12月28日

4 事業目標・取組状況・改善点

<事業目標>

- ・収集・保存、調査研究の推進により展示を充実させる。
- ・県民の豊かな学びを支援する。
- ・調査研究を行い、新たな知見を紹介する。

<取組状況>

鳥取県の自然・歴史・美術に関する知見や新しい研究成果及び普段ふれることのできない世界的・全国的に貴重なものなどを、企画展として広く県民に紹介してきた。

<改善点>

令和7年春の県立美術館開館後における県立博物館の企画展の開催方法のひとつとして、地元マスコミが主催される展覧会への共催参加を計画している。

令和5年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費
6項 社会教育費
3目 博物館費

博物館（電話：0857-26-8042）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
博物館運営費	85,683	104,048	△18,365			<使用料1,247 財産収入950 雑入697> 2,894	82,789	
トータルコスト	148,030千円（前年度 166,580千円）〔正職員：4.9人、会計年度任用職員：8.4人〕							
主な業務内容	会計事務処理、来館者対応、防虫・防菌対策							
工程表の政策内容	博物館機能の充実							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

県民に快適な鑑賞環境が提供できるよう、来館者等から意見を聞きながら、博物館施設の運営を行う。
また、博物館が収蔵している約20万点におよぶ資料を害虫やカビ類などから守るための被害調査や防除対策を行う。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	内容	予算額
管理運営費	・各種設備等管理・保守等業務委託費 ・博物館運営に係る光熱水費及び施設修繕費 ・鳥取県立博物館振興会（ミュージアムショップ運営団体）補助金 ・全国博物館協会等加入負担金 ・その他一般事務費	72,646
博物館協議会開催費	・博物館運営に関する意見聴取等（開催回数5回）	1,360
広報その他事業費	・各種展示等広報及び企画展図録作成経費 ・図書資料の購入経費	8,258
収蔵資料管理費	・防虫・防菌対策	2,839
博物館交流費	・他国の博物館との交流（訪問団の派遣・受人）に係る経費	580
合計		85,683

3 事業目標・取組状況・改善点

<事業目標>

県民へ充実した博物館サービスを提供するため、必要な施設・設備の維持管理を行うなど、博物館を円滑に運営する。

<取組状況>

- ・新型コロナウイルス対策について、前年度に引き続き感染状況を考慮しながら行い、安心して来館していただけの環境を整えた。
- ・来館者へのアンケートを通して要望等を聞きながらサービス向上に向けて取り組んでおり、博物館全体に対する満足度はかなり高く、好評を得ている。
- ・今後の広報活動について、各種メディアを用いて充実させるとともに、より早い時期から実施していく。
- ・日常的な温湿度管理、害虫等の監視や侵入防止に努めるとともに、温湿度等のモニタリング結果を踏まえた毎月の対策会議の開催や定期的な館内一斉清掃等により、薬剤のみに頼らずに博物館資料の保全環境の維持・向上を図っている。
- ・博物館協議会を開催し、博物館が実施している事業について様々な立場から意見をいただいた。
- ・ミュージアムショップでは博物館オリジナルグッズを販売したり、図録やその他のグッズも充実させた。

<改善点>

現在の取組の維持・充実に努めるとともに、さらに効果の高い取組等を積極的に導入し、収蔵資料を的確に保全・管理していく。

令和5年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費
6項 社会教育費
3目 博物館費

博物館（電話：0857-26-8044）
(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
自然事業費	5,280	5,387	△107				5,280	
トータルコスト	33,639千円（前年度 33,944千円） [正職員：2.9人、会計年度任用職員：2人]							
主な業務内容	学芸業務（常設展示、資料収集、研究相談等）							
工程表の政策内容	博物館機能の充実							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

自然資料（地学・生物）の収集・保存と調査研究を行い、その成果を常設展示と教育普及活動により県民に紹介する。

2 主な事業内容

区分	内容	(単位：千円)	
		予算額	
自然事業費	・自然資料の製作、購入・修復及び収蔵資料の保存・整理 ・収蔵資料に関する調査研究 ・常設展示の更新とメンテナンス ・移動博物館や派遣講座等	5,280	
貝類標本整理事業	・会計年度任用職員人件費（3年次／3年計画）（※）	-	
合計		5,280	

※会計年度任用職員の人件費は、教育人材開発課の職員人件費に計上。

3 事業目標・取組状況・改善点

<事業目標>

- ・収集・保存、調査研究の推進による展示の充実。
- ・新たな知見を紹介し、県民の豊かな学びを支援する。

<取組状況>

- ・新しく収集した資料及び調査研究成果を常設展示の展示替えに反映させ、また、移動博物館等に利用し、広く県民に紹介した。
- ・一部、新型コロナウイルス感染拡大の防止に対応した展示に変更した。
- ・貴重な寄贈コレクションの整理及び調査を進め、その成果を展示や研究報告等で紹介した。

<改善点>

- ・コロナ禍においても対応できる、新しい展示や普及講座の在り方などの工夫を図っていく。
- ・鳥取県立博物館改修整備基本構想（中間まとめ）を踏まえた、収蔵資料の整理と充実及び展示等を行っていく。

令和5年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費
6項 社会教育費
3目 博物館費

博物館（電話：0857-26-8044）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
人文事業費	20,632	11,333	9,299				20,632	
トータルコスト	65,410千円（前年度 56,308千円）〔正職員：3.9人、会計年度任用職員：5人〕							
主な業務内容	学芸業務（常設展示、資料収集、研究相談等）							
工程表の政策内容	博物館機能の充実							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

人文資料（考古・歴史・近現代・民俗）の収集・保存と調査研究を行い、その成果を常設展示と教育普及活動により県民に紹介する。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	内容	予算額
資料収集・研究	・資料購入などの収集、収蔵資料の修復や整理、資料価値を高める調査研究 （臨）鳥取藩池田家が製作した藩主所用の甲冑1点と、婚礼に際して揃いの仕様で整えられた道具類7点の購入	11,970
常設展示の充実	・常設展示室の運営・維持管理・展示更新等	767
鳥取藩政資料の活用	・鳥取池田家藩政資料を計画的に補修して保存、情報発信	7,895
郷土視覚定点写真の収集	・鳥取デジタルコレクション及び出前展示のコンテンツとして定点撮影した写真を収集	—
合計		20,632

3 事業目標・取組状況・改善点

<事業目標>

- ・収集・保存、調査研究を推進し、展示を充実する。
- ・資料のデジタル化を促進し、「とりデジ（とっとりデジタルコレクション）」を充実する。
- ・新たな知見を紹介し、「ふるさとキャリア教育」の視点に基づき、県民の豊かな学びを支援する。

<取組状況>

資料の収集、保存、修復等に努めるとともに、しっかりとした調査研究に基づき、魅力ある展示等を実施した。

<改善点>

- ・コロナ禍においても対応できる、新しい展示や普及講座の在り方などの工夫を図っていく。
- ・鳥取県立博物館改修整備基本構想（中間まとめ）を踏まえた、収蔵資料の整理と充実及び展示等を行っていく。

令和5年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費
6項 社会教育費
3目 博物館費

博物館（電話：0857-26-8045）
(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
美術事業費	11,311	8,038	3,273				11,311	
トータルコスト	35,482千円（前年度 32,485千円） [正職員：3.1人]							
主な業務内容	学芸業務（常設展示、資料収集、研究相談等）							
工程表の政策内容	博物館機能の充実							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

美術資料（絵画・彫刻・工芸・写真等）の保存修復と調査研究を行い、その成果を常設展示と教育普及活動により県民に紹介する。

2 主な事業内容

区分	内容	予算額
資料修復研究費	・美術事業や展覧会に関する調査研究 ・郷土の美術作家に関する調査研究 ・保存、展示のための資料修復	7,322
常設展示費	・近世及び近現代の美術資料の展示公開	3,989
合計		11,311

(単位：千円)

3 事業目標・取組状況・改善点

<事業目標>

- ・県民の豊かな学びを支援する。
- ・調査研究を行い、新たな知見を紹介する。

<取組状況>

- ・事業目標を実現するため、計画的に各種事業を進めている。今後は、資料の保存、修復等に努めるとともに、しっかりとした調査研究に基づき、魅力ある展示等を実施する。
- ・近代美術展示室（2階）では、収蔵品に新たな視点や研究の成果を加えた年3回程度のテーマ展示を県民に提示している。また、テーマに沿った内容の他館収蔵品あるいは個人所蔵品などを当館収蔵品と一緒に並べて展示することで、より魅力的な展示（相乗効果）を提示できるよう努めている。
- ・鳥取県の画家などの作品調査や情報収集を積極的に行い、収集評価委員会での審議を経て美術作品を収集し、コレクションの充実に努めている。
- ・収蔵作品の修復は、作品状態と展示予定等を鑑み、優先順位を見直しながら計画的に行っている。

<改善点>

- ・コロナ禍においても対応できる、新しい展示や普及講座の在り方などの工夫を図っていく。
- ・鳥取県立博物館改修整備基本構想（中間まとめ）を踏まえた、収蔵資料の整理と充実及び展示等を行っていく。

令和5年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費
6項 社会教育費
3目 博物館費

博物館（電話：0857-26-8044）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
博物館学習支援事業費	8,045	7,935	110				8,045	
トータルコスト	35,090千円（前年度 35,226千円）〔正職員：3.1人、会計年度任用職員：1人〕							
主な業務内容	博物館学習支援活動							
工程表の政策内容	博物館機能の充実							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

県民の生涯学習や学校教育を支援するために、各種の講座や体験学習会、移動博物館などを実施するとともに、博物館の活動、研究成果、利用方法などについて広く情報を発信する。県内の小・中・高校生に対して、ふるさと鳥取の良さを感じ、誇りに思い、地域に貢献しようとする人材や、遠くに離れていてもふるさと鳥取を思い、鳥取を支えるような人材の育成につなげる「ふるさとキャリア教育」に取り組む。

2 主な事業内容

(単位：千円)

区分	内容	予算額
学校教育支援事業費 (鳥取県立博物館『ふるさとキャリア教育』学習プログラム)	・博物館資料の館内外での活用を促進するとともに、博物館の持つ専門知識や情報を「ふるさとキャリア教育」学習プログラムとして、学校教育活動や児童生徒に提供する。 ・博物館と学校との連携推進を目的とした「教員のための博物館の日」の開催及び「学校向け貸出し教材」を整備する。	929
生涯学習支援事業	・館内外で各種講演会、ワークショップ、観察会等を開催するとともに、博物館の資料や作品を県内各地で見学・鑑賞してもらう移動博物館・移動美術館を開催する。	5,273
情報発信事業	・ホームページ等を通して、生涯学習支援、学校教育支援、博物館の収蔵品に関する情報を広く発信する。 ・研究報告、普及誌等の印刷物を作成する。	1,843
合計		8,045

3 事業目標・取組状況・改善点

<事業目標>

- ・常設展示・企画展の充実、教育振興基本計画に掲げた入館者目標値の実現
- ・楽しく学べる教育普及プログラムの充実、教育振興基本計画に掲げた教育普及活動への入館者目標値の実現
- ・来館者サービスの向上

<取組状況>

- ・コロナ禍でも開催できるよう、プログラムやワークショップの内容を変更して密を避けるよう工夫した。
- ・オンライン展示解説やハイブリッド形式での学芸員派遣を実施した。
- ・県民協力団体と連携した講座を開催した。
- ・企画展関連のプログラムを設定した。
- ・移動博物館、移動美術館を実施した。また、学校からの展示希望について、「出前展示」として実施した。
- ・ホームページ、SNS等を積極的に活用した広報を展開した。
- ・とっとりデジタルコレクションにデータを追加・公開した。

<改善点>

- ・コロナ禍においても対応できるように、新しい展示や普及講座の在り方などの工夫を図っていく。
- ・イベントや講演会のオンライン開催やSNSの活用など、より一層様々なメディアを通じた情報発信図っていく。

令和5年度一般会計補正予算説明資料

10款 教育費
6項 社会教育費
3目 博物館費

博物館（電話：0857-26-8042）
（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 県立博物館改修整備検討事業	0	〔債務負担行為〕 25,740 33,330	〔債務負担行為〕 25,740 33,330				〔債務負担行為〕 25,740 33,330	
トータルコスト	0	44,001	44,001	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.0人	2.0人	2.0人	施設、設備の改修等				

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

平成30年6月に策定した改修整備基本構想で、美術館整備スケジュール等を踏まえながら適当な時期に内容を改めて検討した上で改修するとされていたが、美術館の開館や今後の運営等具体的な形が見えてきたことから、改修のための見直し検討に着手し、「改修整備基本方針」を策定する。

2 主な事業内容

(単位：千円)

区分	事業内容	予算額		
		令和5年度	令和6年度	合計
改修整備基本方針策定	改修整備基本方針の策定に必要となる既存建物の調査、改修方針の検討を現有施設の元設計事業者に委託する。(委託期間：令和5年7月から令和6年8月まで) ・劣化及び耐震診断結果(平成27年9月)を踏まえた現地調査 ・建築基準法上の既存不適格部分の把握と改修方針 ・耐震補強計画と利活用計画を調整した改修方針 ・バリアフリー化の改修方針 ・改正省エネ法への対応方針 ・長寿命化(内装/設備)の対応方針 ・工事仮設の対応方針 ・施設改修等における文化庁協議の方針 等	33,330	25,740 (債務負担行為)	59,070

[参考：PFI手法での改修整備の最短スケジュール]

令和5年度	基本方針検討
令和6年度	基本方針策定 導入可能性調査→整備・運営手法の決定 発注準備(アドバイザー業務)
令和7年度	実施方針の公表
令和8年度	事業者決定(事業着手)
令和9年度	改修工事(工事2年、枯らし1年)
令和12年度	リニューアルオープン

3 事業目標・取組状況・改善点

<事業目標>

令和12年のリニューアルオープンに向け、令和5、6年度に博物館の現地調査、改修整備基本方針の検討及び策定を行う。

<取組状況・改善点>

建築後50年経過に伴う建物の老朽化、耐震力不足、バリアフリー未対応、照明のLED化等を総合的に勘案し、改修を実施する。

令和5年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

3目 博物館費

美術館整備課（電話：0858-47-3011）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 開館前カウントダウンOPENNESS! 戦略事業	16,500	0	16,500			<雑入> 3,000	13,500	
トータルコスト	24,297千円（前年度 0千円） [正職員：1.0人]							
主な業務内容	機運醸成に資する各種イベントの企画・調整、広報計画策定 等							
工程表の政策内容	未来を「つくる」県立美術館整備による文化芸術の創造・発展							
事業内容の説明								
1 事業の目的、概要 開館まで残り2年となることから、全县への広報展開を多方面から強力に進め、令和7年春の県立美術館開館を県内隅々まで届かせるとともに、興味関心を抱かせる広報計画とし、開館後の来館に繋がる仕掛けづくりを2カ年に亘って、PFI事業者と共にマスメディア等とも連携し戦略的に実施していく。								
2 主な事業内容 （単位：千円）								
区分	事業内容							予算額
美術館建設を活用したOPENNESS! 美術館推進事業	上棟（令和5年4月）を契機とした記念事業を実施するとともに、美術館建設現場を活用した見学会をPFI事業者と共同実施することにより、県民に美術館開館を身近に感じ期待感をもっていただき、県民の機運醸成を図るとともに、開館後の再来訪につなげる。 ○上棟記念イベント ○現場見学会							3,000
美術館情報発信事業	開館2年前となる現在のハード・ソフト両面の整備状況と併せ、開館後の美術館の取組、展望を県内隅々まで情報が届く広報展開を実施し、年代や興味関心の有無を問わず、令和7年春の開館を全县民に「知っていただく」とともに、興味・関心を抱いていただき「行ってみたい」に繋がる戦略的な情報発信を強力かつ効果的に行う。 ○学芸員による「未来」を届けるPRキャラバン事業 ○マスメディアと協同した広報戦略事業							5,000
令和5年度シンポジウム助成事業 「開館500日前記念未来を『つくる』美術館の未来」	開館500日前を機運醸成の節目として、美術館の関係人口拡大、アートへの興味・関心を深めるためのシンポジウム及びカウントダウンイベントを開催する。 （令和5年度自治総合センター助成金を活用）							7,000
美術館ノベルティグッズ製作事業	令和4年度中に完成するロゴ・シンボルマークを活用したノベルティグッズを製作し、広報活動の全县展開に活用する。							1,500
合 計							16,500	
3 事業目標・取組状況・改善点 <事業目標> 令和7年春開館に向けて、PFI事業者と一体となって県民立美術館として開館準備業務を進めるとともに、地元倉吉市から全县展開を図り、県民や関係者の機運醸成を図る。 <取組状況・改善点> 令和7年春開館に向けて、県民立美術館を実現するため、県内全域対象に出前説明会を開催するとともに、美術館の目的やコンセプト、アート作品の魅力を発信するキャラバン活動を行っている。								

令和5年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

3目 博物館費

美術館整備課（電話：0858-47-3011）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県立美術館整備推進事業	701,375	104,130	597,245	388,247			313,128	
トータルコスト	716,969千円（前年度127,788千円） [正職員：2.0人]							
主な業務内容	PFI円滑導入推進事業 等							
工程表の政策内容	未来を「つくる」県立美術館整備による文化芸術の創造・発展							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

令和7年春に開館予定の鳥取県立美術館をPFI方式により着実に整備及び開館準備業務を進めるとともに、開館に向けて県民と連携した美術館づくりを行う。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	事業内容	予算額
整備・運営経費	PFI方式で整備・運営を行っていく美術館について、契約以後20年間に渡り、四半期毎の実績に基づき、事業者 서비스에 対価を支払う。（債務負担行為設定済）	667,547
美術館整備運営事業に係るモニタリング支援業務	事業者により提供されるサービスが要求水準や事業契約の内容を満たしているか業務監視するため、金融・財務・建設技術に関する知見やPFI事業に関するノウハウを有する外部アドバイザー事業者（コンサルタント）の支援を受けて実施する。	15,048
美術館フィールドを活用した建築人材育成支援補助金	美術館の建設現場やPFI事業者等を活用し、建築・建設業界に関心を持つきっかけづくり及び技術・知識の向上を図る。	500
美術館整備局運営費		18,000
各種負担金		280
合計		701,375

3 開館までのスケジュール

時期	概要
令和2年3月	本契約
令和2年4月～	基本設計
令和3年1月～	実施設計
令和4年1月～	建設工事着工、安全祈願祭・起工式
～令和6年3月	建物完成引渡し
令和6年度	建物乾燥期間、開館準備（収蔵作品移転等）
令和7年春	開館（令和6年度中） ※運営期間：～令和22年3月

4 事業目標・取組状況・改善点

<事業目標>

事業スケジュールどおり、開館準備業務・建設工事管理を実施する。

<取組状況・改善点>

PFI・BTO方式により整備・運営を行うこととなり、令和2年1月に事業者を選定、同年3月に事業契約を締結し、令和2年4月以降基本設計・実施設計・建設工事を実施している。

令和5年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

3目 博物館費

美術館整備課（電話：0858-47-3011）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「県立美術館」実現プロジェクト事業	12,996	8,629	4,367				12,996	
トータルコスト	28,590千円（前年度24,401千円） [正職員：2.0人]							
主な業務内容	県民の意見を美術館運営に反映する仕組みづくり、美術ラーニングセンター検討、「県立美術館」普及啓発							
工程表の政策内容	未来を「つくる」県立美術館整備による文化芸術の創造・発展							
事業内容の説明								
1 事業の目的、概要								
鳥取県立美術館の令和7年春開館に向けて、県内の文化芸術に係る団体や教育現場等と連携した「県立」の美術館づくりを進めるとともに、美術館への期待を高める活動を進める。								
2 主な事業内容 (単位：千円)								
区分	事業内容							予算額
「県立美術館」実現プロジェクト	県内の文化芸術や地域づくり等に係る団体や利用者等に美術館コンセプトや作品収集方針の説明、開館後の利用形態の説明を行うとともに、県民の意見や要望等を美術館運営に反映する仕組みをつくる。 ○「県立美術館」実現に向けた意見交換会(仮称)の開催 ○県立美術館パネル巡回時に県民からの意見箱（「美術館でやってみたい」「あったらいいな」の夢アンケート）の設置							244
「アート・ラーニング・ラボ（ALL）」推進事業	「アートを通じた学び」を支援するアート・ラーニング・ラボ（ALL）を機能させるため、県民が美術作品やアーティストと出会う機会を増やす方法や、美術館と学校との連携方策、館内外での教育普及事業について、実践と調査研究を行う。 ○小学校の県立博物館美術展等への招待 ○対話型鑑賞ファシリテーターの養成（一般ボランティア、学生等） ○「美術をめぐる場をつくる」展覧会の開催 ○美術館に関わるオンラインレクチャー・ワークショップ等の開催							2,310
「私たちの県立美術館」普及啓発事業	美術館を支える県民を増やすとともに、美術の新しいファンづくりや機運醸成を図る取組を行う。 ○美術館づくりワークショップ「アートの種まきプロジェクト」 ・フリーペーパー『Pass me（パスミー）！』の発行 ・アートを通じたコミュニティづくりのための拠点づくり ・トークイベントの開催 ・アートを通じた地域資源の発掘プロジェクト							4,642
地域でつくる美術館応援事業	県内で活動する団体等が取り組む美術館開館に向けた機運醸成、地域活性化及び美術館応援ネットワーク形成に繋がる取組を支援する。 (1) 補助対象：催事等開催に係る経費 補助率：2/3（限度額：1,000千円、5件程度） (2) 補助対象：美術館を支える仲間づくりや活動に係る経費 補助率：10/10（限度額：100千円、8件）							5,800
合 計							12,996	

4 事業目標・取組状況・改善点

<事業目標>

令和7年春開館に向けて、県内の文化芸術に係る団体や教育現場等と連携し、「県立」美術館として開館準備業務を進めるとともに、鳥取県内各種団体と連携し、機運醸成の全県展開を図る。

<取組状況・改善点>

令和7年春開館に向けて県立美術館を実現するため、県内全域の文化団体等を中心に出前説明会を開催するとともに、ボランティアや友の会等の県民参画の仕組みづくりの過程で「県民・団体との対話会」を開催するなど、PFI事業者と一体となって全県的な機運醸成を図っている。

また、鳥取県立美術館の特色の一つであるアート・ラーニング・ラボ（ALL）機能の構築については、教育現場等と連携して実践を通じた情報の収集・分析・蓄積等を行っていく。

令和5年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費
6項 社会教育費
3目 博物館費

美術館整備課（電話：0858-47-3011）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
全県美術館構想に向けたネットワークづくりスタートアップ事業	5,224	1,310	3,914				5,224	
トータルコスト	13,021千円（前年度 6,042千円） [正職員：1人]							
主な業務内容	美術館連携事業							
工程表の政策内容	—							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

県内のどこに住んでいても県立美術館等のサービスが享受できるようにするため、県立美術館と県内の他の美術館及び文化施設との間で協力・連携のネットワークづくりを推進するとともに、地域の学校など身近なところでも文化芸術に親しみを感じてもらい、新しい文化の創造・発展へとつなぐ取組を全県的に推進していく。

2 主な事業内容

区分	内容	（単位：千円） 予算額
美術館ネットワーク強化推進事業	○美術館連携促進事業 県内の美術館等が県内外の美術館等と連携し実施する展示事業の開催経費を支援する。 ・補助対象：展示事業に係る作品の輸送等に要する経費、広報に係る経費 ・補助率：10/10（限度額：500千円、5件程度） ○県内美術館等協力連携推進支援事業 鳥取県ミュージアム・ネットワーク（T.M.N.）が策定した「鳥取県ミュージアム・ネットワーク美術館等協力連携計画」に基づき、各館の協力連携を推進するための具体的な取組の実施を支援する。 （1）加盟館学芸員による専門部会（会議）の開催 （2）加盟館学芸員の資質向上を目的とした研修会の開催 （3）共同企画展の開催	4,138
学校所蔵芸術作品調査事業（身近なアート作品掘り起こし）	県内各学校に所蔵されている絵画や彫刻などの芸術作品の掘り起こしを行い、その作品の価値や背景を調査して公開することで作品に光をあてるとともに、学校に通う児童生徒や地域の住民が、身近な場所で文化芸術に触れ、アートに親しむ機会につなげるなど、県全体で活用を推進する。 ・調査方法：令和4年度に県内全学校へ照会した回答内容を基に詳細調査	1,086
合計		5,224

3 事業目標・取組状況・改善点

<事業目標>

県立美術館開館に向けた全県の盛り上がり、機運醸成を図る必要があり、県内全域で美術に触れる環境づくりや美術館開館のPRを行うことで、より多くの県民へ文化芸術に親しみを持ってもらうとともに県立美術館への意識付けを図る。

令和5年度一般会計補正予算説明資料

10款 教育費
6項 社会教育費
3目 博物館費

美術館整備課（電話：0858-47-3011）
（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県立美術館整備推進事業	701,375	375,843	1,077,218	375,843				
トータルコスト	716,969	376,623	1,093,592	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	2.0人	0.1人	2.1人	設計・建設業務費用の社会資本整備総合交付金充当額の変更				

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

令和7年春に開館予定の鳥取県立美術館については、PFI手法により整備及び開館準備業務を進めている。事業者が支払うサービス対価のうち、設計・建設業務に要する費用の一部を社会資本整備総合交付金を充てることとしており、その交付金は令和5年度中に一括払いすることとなっている。この度、交付額が確定したことから、所要額を増額する。

2 主な事業内容

(単位：千円)

項目	金額	備考
①社会資本整備総合交付金内示額	764,089	国土交通省内示
②既予算措置額	388,246	令和5年度当初予算
補正額	375,843	①-②

3 事業目標・取組状況・改善点

<事業目標>

令和7年春開館に向けて、PFI事業者と一体となって県民立美術館として開館準備業務を進めるとともに、地元倉吉市から全県展開を図り、県民や関係者の機運醸成を図る。

<取組状況・改善点>

令和7年春開館に向けて、県民立美術館を実現するため、県内全域対象に出前説明会を開催するとともに、美術館の目的やコンセプト、アート作品の魅力を発信するキャラバン活動を行っている。

令和5年度一般会計補正予算説明資料

10款 教育費
6項 社会教育費
3目 博物館費

美術館整備課（電話：0858-47-3011）
（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 県立美術館利用者20万人達成プロジェクト事業	0	15,830	15,830				債務負担行為 159,081 15,830	
トータルコスト	0	23,627	23,627	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.0人	1.0人	1.0人	利用者20万人の目標達成に向けた、開館記念展の準備事業及び特色づくりの強化				

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

県立美術館の利用者20万人の目標達成に向け、開館記念に相応しい大規模な初年度企画展の開催準備とプロモーションを展開し、観光客など来館者を迎えるまちづくりを地域と一体となって創り進めるほか、他の美術館には無い特徴となるアート・ラーニング・ラボ (A. L. L) の機能を強力に構築する。

2 主な事業内容

区分	内容	金額
開館初年度企画展開催準備等事業	開館年度に相応しい大規模な企画展の開催準備と国内外に向けた効果的なプロモーションを展開する。 ○企画展1 オープニングを飾る開館記念展だからこそ集められる優れた名品による「美の饗宴」とし、アンディ・ウォーホルのほかピカソや江戸絵画等著名作家の「それを見るためにだけでも訪れたい」展示を企画 ○企画展2 (仮称) まんが王国とっりの巨匠展(その一) ※初年度は没後10年にあたる水木しげる先生をテーマにスタート ○企画展3 幅広い層に人気の高い動植物をモチーフにした絵画や工芸作品を「楽園」のように集めて展示 (江戸絵画の奇想派作品、モネ、ガレ、ミュシャ等) ○企画展4 国内外のアーティストによる現代アート展 ○企画展5 県立博物館を会場にして開催する美術展	7,150
所蔵作品の活用推進事業	「フリロの箱」をはじめとするシンボリックな県立美術館所蔵作品の著作権利用許諾などの調整を進め、美術館のある県・まちづくりに使える商品開発やPR素材の作成を進めるとともに、それらを活用した美術館のあるまちづくりに向けた地域活動、地域活性化への支援を行う。	5,000
開館に向けて県民と作る美術館活用プログラム	県民各層(子ども、障がい者、高齢者等)を博物館に招待して美術作品の鑑賞体験を提供することで県立美術館開館への期待値・機運を醸成するとともにアート・ラーニング・ラボ(A. L. L)による鳥取県オリジナルの体験プログラムの構築を進める。	3,680
合計		15,830

【債務負担行為】

区分	内容	金額
開館初年度企画展開催準備等事業	美術館開館記念にふさわしい企画展を開催するため、平年ベースより規模が大きく充実した展示内容とするために必要な費用を追加する。 令和6年度：96,251千円、令和7年度：62,830千円	159,081

3 事業目標・取組状況・改善点

<事業目標>

県立美術館利用者20万人の目標達成に向け、開館初年度の大規模企画展を実施するために、作品借用を開始するとともに、学芸員や地域と一体となり県立美術館の特色づくりやまちづくりを行う。

<取組状況・改善点>

作品借用交渉に向け、企画展全体図の練り上げ及び交渉作品選定を進めるとともに、鳥取県オリジナルの鑑賞を含めた体験プログラム策定に向け、現在、共に創り上げていくための高齢者や障がい者を含めた県民(グループ)を募っている。

県立美術館の進捗状況について

令和5年7月14日
美術館整備局

1 美術館の施設整備

(1) 建設工事の進捗状況

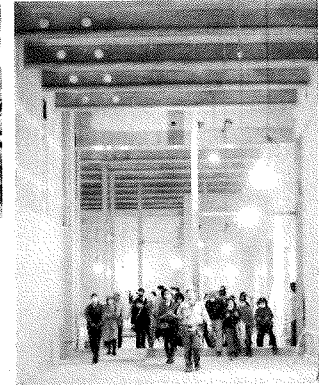
昨年1月に着工した美術館の建設工事は、令和6年春の竣工に向け順調に進捗し、現在、内装工事、外構工事に着手しています。

○建設現場事務所等

- ・PFI事業者(鳥取県立美術館パートナーズ株式会社)から竹中工務店、懸樋工務店、丹青社、横総合計画事務所の職員が常駐。PFI事業者以外にも空調衛生設備管理、電気設備管理として2社が事務所内に常駐。
- ・現場作業員 約200名が従事

○今後のスケジュール

- ・令和6年3月 竣工、建物引渡し
- ・令和6年4月 建物枯らし、収蔵作品移転等
- ・令和7年春 開館



(2) 建設現場見学会等の実施

①現場見学会の受入等

事業者の協力を仰ぎ、建設現場での構内案内、作業体験等を行っています。

- ・4月12日 鳥取県コンクリート診断士会
- ・5月11日 米子市加茂地区社会福祉協議会
- ・5月14日 上棟記念イベント
- ・5月27日 鳥取市青谷老人クラブ
- ・6月14日 鳥取工業高校
- ・6月15日 日赤奉仕団
- ・6月10日 11日 JA鳥取中央「食のみやこフェスティバル」現場見学会
- ・6月17日 日本海新聞イベント子育てフェスタ
- ・6月29日 美術を楽しむ会
- ・7月4日 米子高校
- ・7月7日 三朝町社会福祉協議会
- ・7月21日 倉吉市議会 ほか ※令和4年度 現場見学参加者 約3,000人

②上棟記念イベントの開催

建設工事の節目となる基本構造部分の完成である「上棟」を迎え、それを記念するイベントを建設現場で開催しました。(来場者約4,000人)

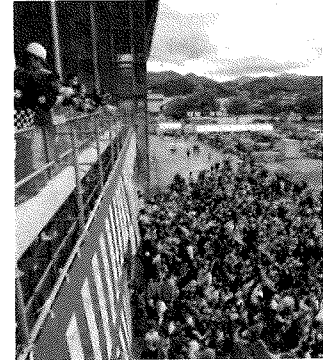
○日時 5月14日(日) 10:00～15:00

- 内容 ・餅つき ・餅まき・お菓子まき大会 ・小中高校生向け仕事体験
- ・高所作業車の搭乗体験 ・美術館内、屋上の見学
- ・完成後の美術館をAR/VR体験
- ・アンディ・ウォーホルの作品《ブリロの箱》関連ワークショップ
- ・コンクリートの壁や床に描くワークショップ ほか

○後援等 ・県立美術館と共に歩む中部地区の集い協議会盛り上げ部会

(倉吉商工会議所青年部/(一社)倉吉青年会議所/鳥取県中部中小企業青年中央会)

- ・(一社)鳥取県建築士会
- ・(一社)鳥取県建築士事務所協会
- ・鳥取県立博物館ワークショップづくり隊、鳥取県立美術館イベントサポーター
- ・倉吉打吹太鼓 奏者の会 ・打吹童子ばやし+LEGEN 童
- ・キッチンエアーズ ・まほら ・かくれんぼ ・LIT ・倉吉北高等学校



(3) 整備推進にあたっての庁内関係課との連携、倉吉市との連携

営繕課、文化政策課、観光戦略課、中部総合事務所の併任参事やまんが王国官房、倉吉市関係課と諸課題について共通認識を深め、調整を進めています。

〈情報共有・意見交換の項目〉

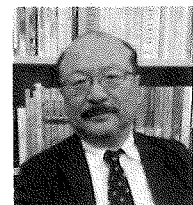
- ・県立美術館の整備状況、倉吉パークスクエア全体のサイン計画、駐車場
- ・倉吉市の整備計画(周辺インフラ、リス舎跡・集いの広場周辺、史跡大御堂廃寺跡)との調整
- ・美術館整備を契機とした連携(機運醸成、観光行政等)

2 美術館の開館準備

(1) 館長予定者の決定

館長予定者として尾崎信一郎美術館整備局美術振興監(前鳥取県立博物館長)を決定し、5月17日に足羽教育長から発表し、5月23日に記者会見を開きました。

館長の発令は、今後、県規則で定める鳥取県立美術館の設置の日(令和6年4月1日とするよう検討中)とし、それまでの間は「館長予定者」とします。



(2) PFI 事業者の運営体制等


館の運営業務を担うアクティオ & 丹青社共同事業体が倉吉市内に設けた事務所には、新たに採用したスタッフ4人が常駐するとともに、本社から統括マネージャー等が頻繁に来県・滞在し、美術館整備運営計画の出前説明、県民参画の仕組づくりや貸館利用、教育普及、企画展、広報、飲食物販事業等の業務を進めています。

- 〈県民参画トライアル〉・「子どもと美術館」オープンミーティング 令和4年度2回、4月13日
- ・イベントサポーター説明会、活動実施、振り返り会 令和4年度6回、6月4日 ほか
- 〈貸館利用ルールの県民対話会〉・5月27日鳥取・5月28日倉吉・6月3日米子 ほか
- 〈関連グッズ・カフェ事業方針説明会〉・7月12日倉吉会場・8月1日米子会場・9月21日鳥取会場

など

(3) ロゴ・シンボルマークの決定

- ①鳥取県立美術館の象徴となるロゴ・シンボルマークを決定し、3月21日の「開館2年前カウントダウンイベント」において発表しました。(令和4年度に応募された1,726点のデザイン案の中から最優秀作品を選定。)

【基本デザイン】	【デザインコンセプト】
	鳥取(TOTTORI)の複数あるTを県民一人ひとりに見立て、そのTの集積によって美術館のシルエットを構成、県民が主体となる美術館を目指したデザイン。TとTの隙間は、建設後の活用こそが重要であることを、隙間を埋めていく＝皆で大切に作り上げていこう、というメッセージになっており、参加しやすい「開かれた場」である事も表わしています。

- ②5月に、ロゴ・シンボルマークを使用した商品を製造・販売したい場合や広報使用したい場合など、その運用ルールや使用する際の所定の手続きを整備し、ロゴ・シンボルマークを広くご活用いただき開館に向けた機運を盛り上げていくこととしています。

(4) 機運醸成イベント、誘客等

今年度は、5月の上棟や11月の開館500日前の機会を捉え機運醸成の事業を引き続き行っていくほか、誘客の視点での広報や営業活動にもPFI事業者と一体となって取り組んでいます。

- 〈プレス懇談会〉・令和4年度3回(倉吉・東京・大阪)・6月29日(東京) ほか
- 〈観光情報説明会・商談会〉・4月18日大阪・19日名古屋・5月10日広島 ほか

3 開館初年度の企画展の概要案

令和7年度に開館記念として行う企画展を次のとおり検討しています。(6月補正予算)

今後、展示する作品の購入・借用の交渉を行うなど準備を進めるとともに、広報や観光の発信につなげます。

区 分	企画展方針
開館記念展Ⅰ (大規模企画展)	オープニングを飾る開館記念展だからこそ集められる優れた名品による「美の饗宴」とし、アンディ・ウォーホルのほかピカソや江戸絵画等著名作家の「それを見るためにだけでも訪れたい」展示を企画
開館記念展Ⅱ (ポップカルチャー企画展)	(仮称)まんが王国とつとりの巨匠展(その一) ※初年度は没後10年にあたる水木しげる先生をテーマにスタート。 ※他に、通年で3巨匠を紹介するコーナーの設置を検討しています。
開館記念展Ⅲ	幅広い層に人気の高い動植物をモチーフにした絵画や工芸作品を「楽園」のように集めて展示(江戸絵画の奇想派作品、モネ、ガレ、ミュシャ等)
開館記念展Ⅳ	国内外のアーティストによる現代アート展
開館記念展Ⅴ	※県立博物館を会場にして開催する美術展

4 学芸員キャラバンの実施

(1) キュレーターズ・キャラバンレクチャー

アンディ・ウォーホルの《ブリロの箱》が美術の歴史の中でどのような重要性を秘めているのか、学芸員のレクチャーと参加者の質疑を通して改めて作品の魅力について考える機会として開催しています。

- ・令和4年度3回・5月21日境港みなとテラス ほか

(2) ブリロの箱関連ワークショップ

学芸員によるミニレクチャーを交えながら、木製キューブや布トートバッグにデザインを施す参加型ワークショップを実施しています。

- ・4月8日上灘コミュニティセンター・6月10日11日食のみやこフェスティバル・6月18日県立博物館 ほか



5 美術ラーニングセンター機能「アート・ラーニング・ラボ(略称 A.L.L.)」の取組例(A.L.L.説明キャラバン)

A.L.L.のプログラムの一つとして、県内の小学4年生全員を県立美術館へバス招待する計画が実現できるとしており、市町村教育委員会や校長会に出向き、県立博物館美術展での対話型鑑賞の様子を説明し、令和7年度に来館できるよう年間行事の調整をしていただくよう依頼しています。

- ・4月7日県教育委員会担当者会(指導主事)、教育局長会議・4月11日ほか東部・中部・西部教育局長と面談
- ・4月14日ほか各地区の小学校長会・4月17日県・市町村教育行政連絡協議会・4月26日県立学校長会
- ・5月22日ほか各市町村教育長と面談 ほか

人事異動に伴う事務局職員の変更について

令和5年4月1日
令和5年7月28日

1 博物館

令和5年度			
館長		漆原 芳彦	
副館長(本務:美術振興監)(再任用)		尾崎信一郎	
副館長兼総務課長		藤原 浩	
総務課	総務担当	課長補佐	山本 哲慎
		課長補佐	桑本 英明
		主 事(本務:美術館整備課)	松田 悠
		主 事	下田 理咲
	担当改修	課長補佐	松本 千恵
学芸課	自然担当	学芸課長	川上 靖
		主幹学芸員	動物 一澤 圭
		主任学芸員	地学・岩石・化石 田邊 佳紀
		学芸員	昆虫 鶴 智之
		学芸員(再任用)	植物 清末 幸久
	人文担当	主幹学芸員	民俗 福代 宏
		主任学芸員	歴史 来見田博基
		主任学芸員	歴史 大嶋 陽一
		専門員兼主任学芸員	考古 小山 浩和
		学芸員	歴史 山本隆一朗
援学担当支	専門員兼主任学芸員	茶谷 満	
美術振興課	美術振興課長		三浦 努
	調査担当	専門員	外村 文
		専門員兼学芸員(再任用)	佐藤 真菜
		(本務:美術館整備課)	
	担当美術	学芸員	山田 修平
専門員		山本 亮	
会計年度任用職員	一般事務(総務)	石井 桃子	
		一般事務(総務(受付))	池田 貴子
	一般事務(改修)	仲道 恵子	
	事務補助(学芸)	梅田 正春	
	資料管理専門員	I P M	本庄 孝行
	標本整理専門員	貝類	渡邊 克典
	史料補修専門員	北村 昌昭	
	史料補修専門員	齋江 仁美	
	複写機オペレータ	清水 信生	
	広報・普及専門員	植村 明美	
アーカイヴ資料整理員	柿田 春香		
(本務:美術館整備課)			
警備員	井川 豊治		
警備員	向山 雅雄		
警備員	福岡 正史		

1 博物館

令和4年度			
館長		漆原 芳彦	
副館長(本務:美術振興監)(再任用)		尾崎信一郎	
副館長兼総務課長		藤原 浩	
総務課	総務課	課長補佐	森田 佳代
		課長補佐	岩成 安雄
		主 事(本務:美術館整備課)	若松 杏奈
		主 事	梶谷 理咲
学芸課	自然担当	学芸課長	川上 靖
		主幹学芸員	動物 一澤 圭
		主任学芸員	地学・岩石・化石 田邊 佳紀
		学芸員	昆虫 鶴 智之
		学芸員(再任用)	植物 清末 幸久
	人文担当	主幹学芸員	民俗 福代 宏
		主任学芸員	歴史 来見田博基
		主任学芸員	歴史 大嶋 陽一
		専門員兼主任学芸員	考古 小山 浩和
		学芸員	歴史 山本隆一朗
援学担当支	専門員兼主任学芸員	茶谷 満	
美術振興課	美術振興課長		三浦 努
	調査担当	専門員	外村 文
		専門員兼学芸員(再任用)	佐藤 真菜
		(本務:美術館整備課)	
	担当美術	学芸員	山田 修平
専門員		山本 亮	
会計年度任用職員	一般事務(総務)	石井 桃子	
		一般事務(総務(受付))	池田 貴子
	事務補助(学芸)	花田 満	
	資料管理専門員	I P M	本庄 孝行
	標本整理専門員	貝類	渡邊 克典
	史料補修専門員	濱橋 明代	
	史料補修専門員	齋江 仁美	
	複写機オペレータ	清水 信生	
	広報・普及専門員	植村 明美	
	アーカイヴ資料整理員	柿田 春香	
(本務:美術館整備課)			
警備員	井川 豊治		
警備員	向山 雅雄		
警備員	福岡 正史		

2 美術館整備局

局長		梅田 雅彦
次長兼美術館整備課長		住友 正人
美術振興監(兼博物館副館長)(再任用)		尾崎信一郎
参事監		齋藤 正樹
美術館整備課	課長補佐	石原 理絵
	係 長	生田憲一郎
	会計年度任用職員(事務)	松嶋 昭子

2 美術館整備局

局長		梅田 雅彦
次長兼美術館整備課長		齋尾 安広
美術振興監(兼博物館副館長)(再任用)		尾崎信一郎
美術館整備課	地域・学校連携・運営担当 課長補佐	石原 理絵
	整備担当 係長	生田憲一郎
	会計年度任用職員(事務)	松嶋 昭子

